

令和元年度
第3次静岡市ものづくり産業振興基本計画
実施状況報告書

経済局商工部 産業振興課

*** 目 次 ***

| | |
|-------------------------------------|----|
| 令和元年度 第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について | 1 |
| 1 経 緯 | 1 |
| 2 基本計画の概要 | 1 |
| 3 実施状況等 | 2 |
| (1) 方針ごとの実施状況 | 4 |
| ①方針1 企業の誘致と留置の推進 | 4 |
| ②方針2 新市場・販路開拓に対する支援 | 5 |
| ③方針3 新製品・技術開発等に対する支援 | 7 |
| ④方針4 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | 8 |
| ⑤方針5 次代を担う多様な人材の育成 | 10 |
| ⑥方針6 伝統工芸技術の保存・継承 | 12 |
| (2) 実施状況の総括 | 14 |
| 4 各事業の進捗実施状況管理個票 | 17 |

令和元年度 第3次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について

静岡市ものづくり産業振興条例（以下「条例」という。）第8条第7項の規定に基づき、次に掲げる事項について報告いたします。

1 経 緯

静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下「基本計画」という。）は、平成23年3月に議員提案をもとに制定された条例を根拠とし、同条例第18条に規定する静岡市ものづくり産業振興審議会及び関係機関と連携を図りながら、平成24年7月、「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を目標に掲げ策定しました。

その後、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化を踏まえ、継続的にものづくり産業の振興を推進するため、第3次静岡市総合計画及び第2次静岡市産業振興プランとの整合を図り、平成27年3月に第2次基本計画を策定し、計画目標の達成に向け取り組んできました。

この第2次基本計画が平成31年3月に満了したことから、これまでの基本計画と同じく、条例の目的に定めるとおり「ものづくり産業の振興を総合的かつ計画的に推進し、もって地域経済の健全かつ持続的な発展及び市民生活の向上に寄与する」ことの達成に向けて、平成31年4月に第3次基本計画を施行しました。

2 基本計画の概要

基本計画については、条例に掲げる趣旨の具現化に向けたプロセスであることから、計画目標を支える6つの方針に基づき全21の事業を設けました。

| | |
|-------|--|
| 根拠法令 | 静岡市ものづくり産業振興条例第8条第1項（基本計画の策定等） |
| 計画期間 | 平成31～令和4年度（4か年度） |
| 策定目的 | 本市ものづくり産業の総合的かつ計画的な振興を図るため |
| 計画構成等 | (1) 計画目標 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡 (2) 方針 方針1 … 企業の誘致と留置の推進 方針2 … 新市場・販路開拓に対する支援 方針3 … 新製品・技術開発等に対する支援 方針4 … 中小企業の経営基盤・競争力の強化 方針5 … 次代を担う多様な人材の育成 方針6 … 伝統工芸技術の保存・継承 (3) 事業 各事業の成果目標及び事業実績一覧表のとおり |

基本計画の実施主体については、計画目標の達成に向けた事業を実施する担当課として、経済局商工部3課（産業政策課、産業振興課、商業労政課）に加え、男女共同参画課、高齢者福祉課、中山間地振興課、新インターチェンジ周辺整備課、教育センターが基本計画の推進に取り組んでいます。

事業担当課では、方針や施策を踏まえるとともに、計画目標を達成するための成果目標のもとで、効率的かつ効果的な事業運営に努めました。

3 実施状況等

基本計画は、前項のとおり、計画目標の達成に向けて体系化が図られたものであるため、その実施状況にあたっては、一事業の実施状況を注視するだけでなく、計画目標を実現させるために掲げた方針の実施状況を捉えることで、計画全般を総合的に把握する必要があります。そのため、今回の報告では、図1のとおり、6つの方針を基本的な枠組みと捉えるとともに、6つの方針の中に位置付けられた各事業に関する実施状況をもとに、方針ごとの実施状況を把握しています。その後、それぞれの方針に関する実施状況を総合的に判断した結果をもとに、基本計画全体の実施状況を包括的に評価しています。

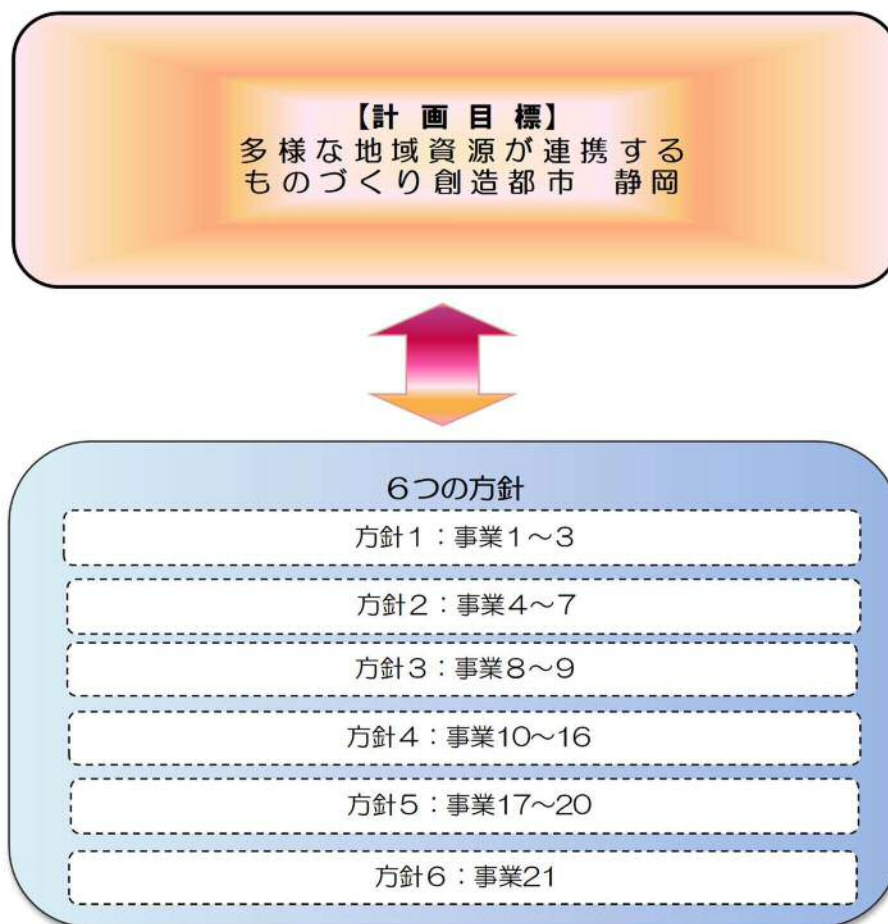


図1 基本計画体系図

各重点項目及び方針の実施状況を把握するため、各種事業の成果目標に対する達成状況等について、表1のとおり評価しています。なお、数値目標を設けている事業については、事務事業総点検表の評価基準に倣い、「S」から「C」までの4段階による評価を実施し、数値目標を設けていない事業については、「※」として区分しています。

| 事業評価 | 成果目標に対する達成状況等 |
|------|--------------------|
| S | 期待を上回る（105%以上） |
| A | 期待どおり（90%以上105%未満） |
| B | 期待を下回る（70%以上90%未満） |
| C | 期待を顕著に下回る（70%未満） |
| ※ | 数値目標を設けていない |

表1 成果目標に対する各種事業の達成状況等

その後、各種事業の成果目標に対する達成状況等を方針ごとに取りまとめ、方針別実施状況について表2のとおり評価しています。

| 方針別評価 | 方針別実施状況の評価 |
|-------|----------------------------|
| ◎ | 期待を上回る（S+Aの割合が90%以上100%以下） |
| ○ | 期待どおり（S+Aの割合が70%以上90%未満） |
| △ | 期待を下回る（S+Aの割合が50%以上70%未満） |
| × | 期待を顕著に下回る（S+Aの割合が50%未満） |

表2 方針別実施状況の評価

(1) 方針ごとの実施状況

①方針1 企業の誘致と留置の推進

方針1は、表4のとおり、数値目標を設定している2事業のうち、1事業が「S」評価、1事業が「A」評価となったことから、方針別実施状況の評価を「◎（期待を上回る）」としています。

事業1の「企業立地の推進」については、年間を通して積極的な企業訪問に取り組み、企業ニーズの把握に努めるとともに、企業にとって有益な情報提供（物件情報の提供等）を実施したり、助成制度の活用を促したりするなど、企業立地の促進に努めています。また、企業ニーズに合わせて助成制度の見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担うなど、企業に寄り添った支援を実施した結果、新規企業立地の年間目標件数を上回る31件の立地に成功しました。

また、事業3－(1)の「「地域経済牽引事業」承認案件の企業立地支援」については「地域未来牽引企業サミット」の開催による支援制度の紹介や、設備投資を計画している企業に対して地域経済牽引事業計画の作成支援を個別に実施するなど、案件の発掘に努めた結果、概ね目標を達成することが出来ました、

| 方針・事業 | 成果指標 | 令和元年度 事業結果 | 事業評価 |
|--------------------------------------|-------------------------|----------------------------|------|
| 方針(1) 企業の誘致と留置の推進 | | | |
| 事業1 企業立地の推進 | 新規企業立地件数 17件 | 新規企業立地件数 31件 | S |
| 事業2 恩田原・片山土地区画整理事業 ★ | 組合、コーディネーターと連携した企業立地の推進 | 組合、コーディネーターと連携した企業立地の推進を実施 | ※ |
| 事業3 地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 ★ | | | |
| (1)「地域経済牽引事業」承認案件の企業立地支援 | 地域経済牽引事業計画承認件数 10件 | 地域経済牽引事業計画承認件数 9件 | A |
| (2)「重点促進区域」の開発の実現化 | 開発許可基準見直しに向けた関係局との協議・調整 | 開発許可基準見直しに向けた関係局との協議・調整を実施 | ※ |

表4 方針1の実施状況等

②方針2 新市場・販路開拓に対する支援

方針2については、表5のとおり、数値目標を設定している11項目（8事業）のうち、6項目が「S」評価、2項目が「A」評価となったことから、方針別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

事業内の2項目の評価が「S」となった事業4の「全国規模等の見本市への出展助成等」については、市内中小製造事業者が全国的な規模の展示会や見本市に出展する際の小間料等を支援する「大規模展示会出展等事業補助金」と、大規模な集客が見込まれる日本最大級の機械要素・加工技術を集めた専門技術展示会である「第22回 関西機械要素技術展（インテックス大阪）」に市内企業と共同で出展を行う「大規模展示会共同出展事業」に取り組みました。

「大規模展示会出展等事業補助金」については、主に金融機関を通じ制度の周知を実施、補助金の利用企業が目的意識を持ち各社出展を行ったことで目標を上回る商談成約率となりました。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の流行の影響により展示会・見本市の開催が減少傾向にありますが、経済の回復期を見据えた補助要件の緩和等に取り組み、事業者組合等へも利用促進のための周知に努めていきます。

「大規模展示会共同出展事業」については、ブース装飾により視認性の良いデザインを採用し、ブース運営においては清水産緑茶の試飲を行うなど、来場者が足を止める工夫を行いました。また、共同出展事業者が積極的な営業活動を行ったことで、目標を上回る商談成約率となりました。令和2年度においては「第25回 機械要素技術展（幕張メッセ）」に出展し、市内企業の販路開拓支援を継続するとともに、より効果的なブース運営の検討も進めていく予定です。

事業6－（2）の「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援については、「春の市」と「秋の市」を開催しました。「春の市」についてはシズオカ×カンヌウィークと同時開催したことにより、例年を大きく上回る来場者数を達成しました。「秋の市」については、消費税増税の影響もあり売り上げは伸び悩んだものの、実演販売が好調となりました。今後も「しずまえ」や「オクシズ」といった本市の地域資源との連携を図りつつ、特産品のPRを行っていきます。

| 方針・事業 | 成果指標 | 令和元年度 事業結果 | 事業評価 |
|--------------------------------|--|--|----------|
| 方針（２）新市場・販路開拓に対する支援 | | | |
| 事業4 全国規模等の見本市への出展助成等 | 商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）①10% ②7% | ①大規模展示会補助金 12% ②共同出展事業 16% | ①S ②S |
| 事業5 首都圏におけるプロモーション強化 | | | |
| (1) アンテナショップ開設事業 ★ | — | 東京オリンピックの影響等により、5市2町で求める立地条件等を満たし、家賃に収まる物件を探索できず、開設に至らなかった。 | ※ |
| (2) ホビー産業育成支援事業 | ホビー関連イベントの来場者数（静岡ホビーショー、クリスマスフェスタ、静岡ホビースクエア（企画展示場を除く）来場者数）160,393人 | ホビー関連イベントの来場者数（静岡ホビーショー、クリスマスフェスタ、静岡ホビースクエア（企画展示場を除く）来場者数）163,757人 | A |
| (3) 伝統工芸品等の展示販売会 | ①(2k540) 来場者数：11,580人 ②(新宿展) 売上金額5,519千円 | ①(2k540) 来場者数：13,000人 ②(新宿展) 売上金額4,004千円 | ①S ②B |
| 事業6 地場産品の販路開拓・販売促進 | | | |
| (1) 駿府楽市によるPR・販売促進支援 | 来場者数 427,620人 | 来場者数 383,820人 | A |
| (2) 「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援 ★ | 来場者数 3,370人 | 来場者数 6,500人 | S |
| (3) 「産業フェアしずおか」開催補助金 | 来場者数 88,950人 | 来場者数 77,800人 | B |
| 事業7 中小企業の海外展開に対する支援 | | | |
| (1) 国際食品見本市の出展等による支援 ★ | ①見本市 成約4件 ②間接輸出 商談成約12件 | ①見本市 成約2件 ②間接輸出 商談成約17件 | ①C ②S |
| (2) 海外で開催される見本市への出展助成等 | 商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）10% | 商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）34%（海外分抽出） | S |

注）★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに掲載された事業を示しています。

表5 方針2の実施状況等

③方針3 新製品・技術開発等に対する支援

方針3については、表6のとおり、数値目標を設定している5項目（4事業）のうち、事業評価が「S」となった事業が1項目、「A」となった事業が3項目であったことから、方針別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

事業8－（2）の「デザイナー等とのコラボレーションに対する支援」においては、「ニューウェーブしずおか開発事業」と「しずおかMIRAI design プロジェクト」の2事業を実施しました。評価が「B」となった「ニューウェーブしずおか開発事業」は、意欲的地場産業者がプロデューサー指導のもと、公募デザイナーとの協働によりデザイン開発を実施する事業です。令和元年度は参加事業者、公募デザイナーそれぞれ7者により22点の開発を行い、HP等で告知したうえで「東京インターナショナルギフトショー」に出展し販路開拓を実施しました。目標点数には達しなかったものの、開発点数は開発を行う内容により大きく上下するため、必ずしも少ない点数とは言えない結果と考えられます。今後は開発品の商品化を図っていきます。

評価が「S」となった「しずおかMIRAI design プロジェクト」は、地場産業、伝統産業メーカーとクリエイターをマッチングし、企画、商品開発段階からクリエイターが関与することで、マーケットやユーザーニーズを意識したものづくりと、メーカーの新しい販路開拓の一助とすることを目的とした事業です。令和元年度は企業からのデザイン相談を受け付け、デザインに関する企業の相談にアドバイスを行い、クリエイターの紹介を積極的に行いました。今後は、新型コロナウイルス感染症の流行により新たなビジネスモデルの構築が求められる中、EC等を意識した商品開発を行っていきます。

| 方針・事業 | 成果指標 | 令和元年度 事業結果 | 事業評価 |
|-------------------------------|---|---|----------|
| 方針（3）新製品・技術開発等に対する支援 | | | |
| 事業8 新商品開発等に対する支援 | | | |
| (1) 新商品開発等に対する助成 | 新商品等開発支援件数 3件 | 新商品等開発支援件数 3件 | A |
| (2) デザイナー等とのコラボレーションに対する支援 | ①（ニューウェーブ） 開発点数30点 ②（MIRAI design） マッチング件数5件 | ①（ニューウェーブ） 開発点数22点 ②（MIRAI design） マッチング件数6件 | ①B ②S |
| (3) 専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施 | 支援件数6件 | 支援件数6件 | A |
| 事業9 産業財産権出願に対する助成 | 産業財産権出願支援件数 18件 | 産業財産権出願支援件数 18件 | A |

表6 方針3の実施状況等

④方針4 中小企業の経営基盤・競争力の強化

方針4に掲げる事業については、表7のとおり、18項目（14事業）のうち、数値目標が設けられているものは17項目であり、事業評価「S」が2項目、「A」が9項目、「B」が3項目、「C」が3項目であったことから、方針別実施状況の評価を「△（期待を下回る）」と評価しています。

評価が「B」となった事業10－（1）「事業高度化機械設備設置事業補助金」は、中小製造事業者に対して、生産性の向上を目的とする機械設備の設置費用に対して助成を行うことで、地域の産業の活性化及び高度化を図るものです。金融機関や支援団体等を通じて制度の周知を実施、申請手続きの支援を行うとともに課題のヒアリングも実施し、本補助金以外の支援にもつなげられるよう取り組みました。令和元年度は消費増税の影響もあり目標件数に達しなかったものの、新型コロナウイルス感染症の流行下においても設備投資に対する需要は底堅く、経済の回復期を見据えた積極的な設備投資に対応できるよう、制度の見直しを随時行っています。

評価が「A」となった事業10－（4）「IT技術の活用・促進に関する検討」については、令和元年度においては、静岡商工会議所と連携した「ITなんでも相談窓口」の設置し、窓口相談、巡回指導、セミナーの実施等によりIT導入の促進と支援に努めた結果、目標とした対応件数を達成しました。今後は、新型コロナウイルス感染症の流行により更なるITの導入及び活用に向けた相談ニーズが多く見込まれることから、更に支援のすそ野を広げていくため、支援体制の強化を図っていく方針です。

事業13の「企業OB人材の活用」については評価が「A」となりました。経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験や知識を有する主に大企業のOB（＝新現役）のマッチングを目的とした「新現役交流会」を開催しました。令和元年度においては、成果指標であるマッチング率については概ね目標を達成しましたが、交流会当日に大型の台風が首都圏を直撃したこともあり、多数の新現役が欠席となってしまいました。より多くの新現役が交流会に参加することが更なるマッチング率の向上につながると考えられるため、トラブルへの対策や事業の周知方法について改善策を検討していきます。また、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み、ウェブ会議サービスである「Zoom」を活用したオンラインでの面談により、交流会を実施する予定です。

評価が「C」となった事業15－（3）のオクシズ「漆-japan-の里」構想事業は、平成30年度に官民で構成される「オクシズ『漆の里』協議会」を立ち上げ、都市部との交流促進、生産振興や6次産業化の推進を通じ、静岡の漆文化－「Shizuoka japan」のブランド化を目指す事業です。令和2年度以降は成果指標である漆の植樹面積の拡大に努めるとともに、協議会の各種事業を計画的な展開と事業のブランド化を図ることで、市民に対する取組みへの理解を深め、事業継続のための資金開発に繋げ、10年後の生産・流通を目指していきます。

| 方針・事業 | 成果指標 | 令和元年度 事業結果 | 事業評価 |
|-------------------------------------|--|--|------|
| 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | |
| 事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 | | | |
| (1) 事業高度化機械設備設置事業補助金 | 機械設備設置支援件数 30件 | 機械設備設置支援件数 21件 | B |
| (2) 現場改善支援事業 ★ | 現場改善支援の実施 | 現場改善支援事業の実施 | ※ |
| (3) 生産性向上特別措置法に係る 先端設備等導入計画の認定 ★ | 新規認定件数 150件 | 新規認定件数 141件 | A |
| (4) IT技術の活用・促進に関する検討 ★ | IT導入に関する支援件数 100件 | IT導入に関する支援件数 104件 | A |
| 事業11 事業承継に対する支援 ★ | 専門家派遣を通じた支援 件数 80件 | 専門家派遣を通じた支援 件数 80件 | A |
| 事業12 中小企業融資制度による支援 | 融資制度申込件数 1,110件 | 融資制度申込件数 1,143件 | A |
| 事業13 企業OB人材等の活用 ★ | マッチング率 60% (参加企業のうち、人材の 支援を受け入れた企業の割 合) | マッチング率 57.1% (参加企業のうち、人材の 支援を受け入れた企業の割 合) | A |
| 事業14 中小企業等の表彰事業 | | | |
| (1) CSR活動表彰事業 | 表彰企業件数 6件 | 表彰企業件数 2件 | C |
| (2) 中小企業者技術表彰事業 | 受賞事業者が広報された件 数 3件 | 受賞事業者が広報された件 数 5件 | S |
| (3) 多様な人材の活躍応援事業所表彰事業 ★ | 表彰企業件数 5件 | 表彰企業件数 4件 | B |

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに搭載された事業を示しています。

表7 方針4の実施状況等（次項に続く）

| 方針・事業 | 成果指標 | 令和元年度 事業結果 | 事業評価 |
|---------------------------------|---|---|----------------|
| 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | |
| 事業15 本市に根ざした産業のブランド化 | | | |
| (1) 「ホビーのまち静岡」推進事業 | ①クリスマスフェスタ 来場者数44,000人 ②静岡ホビースクエア 来場者数37,768人 ③ものづくり教育推進事業の結果、プラモデルが好きになった児童の割合 73% | ①クリスマスフェスタ 来場者数44,500人 ②静岡ホビースクエア 来場者数35,019人 ③ものづくり教育推進事業の結果、プラモデルが好きになった児童の割合 94% | ①A ②A ③S |
| (2) 地域産業振興ブランド認証事業 | 展示販売会等実施回数 12回 | 展示販売会等実施回数 12回 | A |
| (3) オクシズ「漆-japan-の里」構想事業 ★ | 漆植樹面積 0.5ha | 漆植樹面積 0.3ha | C |
| 事業16 地場産品の情報発信・愛用推進 | ①駿府府楽市「特産品展示コーナー」来場者数 427,600人 ②駿府匠宿来場者数 270,000人 ③駿府匠宿利用者満足度 90%以上 | ①駿府府楽市「特産品展示コーナー」来場者数 383,280人 ②駿府匠宿来場者数 169,700人 ③駿府匠宿利用者満足度 110.4% | ①B ②C ③S |

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに掲載された事業を示しています。

表7 方針4の実施状況等（前項から続く）

⑤方針5 次代を担う多様な人材の育成

方針5では、表8のとおり、数値目標を設定している11項目（13事業）について、4項目が「S」評価、6項目が「A」評価となったことから、方針別実施状況の評価を「◎（期待を上回る）」としています。

「S」評価となった事業17-（2）「ものづくり教育推進事業」については、ものづくりへの関心を高めるとともに、次世代のプラモデルファン獲得に向けて、市内の小学校に対してプラモデルをテーマにした出前授業を実施しており、授業に参加した9割以上の児童からプラモデルを好きになったとの回答がありました。

今後も引き続きブランド力のある地域資源を活用した「ホビーのまち静岡」を推進していくとともに、模型メーカーや関係機関と連携することで小学生等を対象とした「ものづくり教育」に取り組んでいきます。

「S」評価となった事業19-1「若者の地元就職・UIJターン就職の促進事業」は、地

元就職並びに、U I J ターンを志す若者をはじめ、市内企業の情報が行き届いていない若者に対する課題解決を図ることを目的として、若者就活応援サイト「しずまっち」等の様々なツールを活用し、若者が市内企業への就職を将来の選択肢として捉えることができるよう取り組む事業です。令和元年度は交流会等の実施、就職支援情報誌や高校生向けキャリア育成プログラム等を実施し、市内企業への高い就職関心を引き出したり、生徒の将来の選択肢の広がりを持たせたりすることに寄与できたと考えています。

今後は、早期のキャリア形成、同窓会ネットワークを通じた情報発信に取り組んでいく方針です。また、若者と社会人との交流機会を提供することが必要と考えていますが、コロナ禍における実施について、方法や時期等について検討が必要となっています。

「S」評価となった事業19-7「働き方改革の実現に向けた環境整備の推進」は、働き方改革に取り組む企業ロールモデルの構築・事例発信や、ダイバーシティ経営推進セミナーの開催等により、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図る事業です。令和元年度は主に「ダイバーシティ経営推進セミナー」として、経営者向け1回、管理職向け2回、従業員向け2回を開催し、総勢延べ113名に参加いただきました。参加者の満足度は約95%、「ダイバーシティに取り組みきっかけとなった」と回答した企業は100%となりました。昨今人材不足が顕在化する中、人材確保の問題を解決するべく、今後はより多くの方の興味関心を得られるテーマを設定するため、業者選定をプロポーザル方式で実施するなどにより参加者の増加を図ってくとともに、オンラインセミナーでの開催も検討していきます。

| 方針・事業 | 成果指標 | 令和元年度 事業結果 | 事業評価 |
|---------------------------|---|---|------|
| 方針（5）多様な産業人材の確保・育成 | | | |
| 事業17 | | | |
| ものづくり体験・学習機会の提供 | | | |
| (1) 駿府匠宿での地場産品体験学習事業 | 体験学習申込児童数： 3,220人 | 体験学習申込児童数： 3,267人 | A |
| (2) ものづくり教育推進事業 ★ | ものづくり教育推進事業の結果、プラモデルが好きになった児童の割合 73% | ものづくり教育推進事業の結果、プラモデルが好きになった児童の割合 94% | S |
| (3) こどもクリエイティブタウンでの職場体験等 | 商店街をはじめとした地元事業者等と連携し、こどもに様々な体験をできる場を提供する。 | 年間利用者（こども） 70,190人 | ※ |
| (4) プログラミング教育推進事業 ★ | 教員向けの研修の実施。 | 5回の小学校プログラミング研修会等プログラミング教育の実施に向けた研修を実施。 | ※ |

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに掲載された事業を示しています。

表8 方針5の実施状況等（次項に続く）

| 方針・事業 | 成果指標 | 令和元年度 事業結果 | 事業評価 |
|---|--|---|----------|
| 方針（5）多様な産業人材の確保・育成 | | | |
| 事業18 多様な人材の就労に対する支援 | | | |
| (1) 若者の就労支援事業 ★ | 親と若者の就労支援セミナー参加者満足度 | 親と若者の就労支援セミナー参加者満足度 91.3% | A |
| (2) 若者の地元就職・U I J ターン就職の促進事業 ★ | ①市内企業への就職関心度 ②将来の選択肢が広がった生徒の割合 | ①市内企業への就職関心度 97% ②将来の選択肢が広がった生徒の割合 93.9% | ①A ②A |
| (3) 企業OB人材の活用【再掲】 ★ | マッチング率 60% (参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合) | マッチング率 57.1% (参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合) | A |
| (4) 高齢者就労促進事業 ★ | 高齢求職者の雇用・就業数 80名 | 高齢求職者の雇用・就業数 206名 | S |
| (5) 女性活躍ブランド認証事業 ★ | ブランドの認定を行うとともに情報発信を行う。 | 認定件数：10件 各種メディアにおける情報発信の実施 | ※ |
| (6) 首都圏の女子学生を対象とした就労支援 ★ | 就職関心度90%以上 | 就職関心度100% | S |
| (7) 働き方改革の実現に向けた環境整備の推進 ★ | ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合 80%以上 | ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合 100% | S |
| 事業19 若手職人の育成事業 | 新規制度利用者数 ・長期支援2人 ・独立支援1人 | 新規制度利用者数 ・長期支援2人 ・独立支援0人 | C |
| 事業20 働き方改革の実現に向けた環境整備の推進【再掲】 ★ | ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合 80%以上 | ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合 100% | S |

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに掲載された事業を示しています。

表8 方針5の実施状況等（前項から続く）

⑤方針6 伝統工芸技術の保存・継承

方針6では、表9のとおり、数値目標を設定している4項目（5事業）について、2項目が「A」評価となったことから、方針別実施状況の評価を「△（期待を下回る）」としています。評価が「A」となった事業21-（1）の「伝統工芸技術アーカイブス事業」は、熟練職人の

高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術に対する保存・継承の取り組みとして、消失の危機に直面する熟練職人技術を抽出し、映像化や技術工程のサンプル化等により文化として保存し、後世への継承を図る事業です。令和元年度は駿河漆器の技術を保持する職人の技術工程の映像を制作しました。

各業界により後継者数や職人数など事情が異なるため、事情を把握しつつ調整を行っていくとともに、技術保有者の健康状態は今後も確実とはいえないため、期間を置かずに確実な保存を図っていく必要があります。一方で、アーカイブ技術は各保有職人個人の技術でもあり安易な公開はできないため、保持者との協議もしっかりと行う必要もあります。

評価が「C」となった事業21-(3)「伝統工芸技術秀士の顕彰」は、本市の伝統工芸の技術を継承するため優れた技術の保持者を顕彰し、そのPRを行う事業ですが、各伝統工芸業界において、高度な技術を有し、伝統工芸展等へ積極的に出展し技術研鑽に励む職人は高齢化等により大幅に減少している現実もあり、安易に対象者を広げすぎると指定制度の根幹が曖昧になりかねないため、令和元年度は指定を見送りました。

今後は中堅職人の中で有望視される職人を模索していくことも必要ですが、人的に限りがあるため、対象者の幅については検討していく必要があると考えています。

| 方針・事業 | 成果指標 | 令和元年度 事業結果 | 事業評価 |
|--------------------------------|-----------------------------|---|------|
| 方針（6）伝統工芸技術の保存・継承 | | | |
| 事業21 伝統工芸技術の保存・継承 | | | |
| (1) 伝統工芸技術アーカイブ事業 ★ | 映像化本数 1本 | 映像化本数 1本 | A |
| (2) 伝統工芸保存講習会の開催 | 開催部門：5部門 参加者数：38名 | 開催部門：5部門 参加者数：37名 | A |
| (3) 伝統工芸技術秀士の顕彰 | 秀士の指定者数：1名 | 秀士の指定者数：0名 | C |
| (4) オクシズ「漆-japan-の里」構想事業【再掲】 ★ | 漆植樹面積0.5ha | 漆植樹面積0.3ha | C |
| (5) 地域おこし協力隊による「井川メンパ」の保存・伝承 ★ | 市内唯一の職人の技術を 伝承するための取組の実施 | 市内唯一の職人の元で年 間を通じ修行。隊員が制作 した井川メンパの展示を実 施。 | ※ |

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに搭載された事業を示しています。

表7 方針6の実施状況等

(3) 基本計画実施状況の総括

基本計画の実施状況に関しては、表9のとおり、6つの方針のうち4つの方針において「◎（期待を上回る）」または「○（期待どおり）」の評価となりました。

表10のとおり、評価区分別に見ると「S」評価が13項目、「A」評価が22項目と、数値目標を設けた全項目数に対するS及びA事業数の割合が72.9%を占めていることから、基本計画全体としては、「十分に進捗が図られている」と捉えています。

また、本計画の目標を「計画最終年度（令和4年度）末時点の製造品出荷額等 2兆円」と設定していますが、「2019年工業統計調査」において、2兆1,223億円となりました。本市における製造品出荷額等において上位5分類である「電気機械（対前年比11.5%増）」「食料品（同1.5%増）」「非鉄金属（同14.5%増）」「はん用機械（同2.0%増）」「化学工業（3.9%増）」全てにおいて製造品等出荷額が増加したことが要因として考えられます。

しかしながら、主に令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う経済活動の停滞は本市内の事業所に対しても大きな影響を及ぼしていることから、企業のニーズを確認しながら、適時適切な支援が行えるよう取り組んでいきます。

| 方針 | 事業評価 | 該当事業数 | 事業評価の割合 | 「期待どおり」(S+A)以上の事業の割合 | 実施状況の評価 |
|--------------------|---------|--|---------|----------------------|---------|
| 方針1 (2項目) | S | 1 | 50.0% | 100% | ◎ |
| | A | 1 | 50.0% | | |
| | B | 0 | 0.0% | | |
| | C | 0 | 0.0% | | |
| | ※ | 2 | | | |
| 方針2 (12項目) | S | 6 | 54.5% | 73% | ○ |
| | A | 2 | 18.2% | | |
| | B | 2 | 18.2% | | |
| | C | 1 | 9.1% | | |
| | ※ | 1 | | | |
| 方針3 (5項目) | S | 1 | 20.0% | 80% | ○ |
| | A | 3 | 60.0% | | |
| | B | 1 | 20.0% | | |
| | C | 0 | 0.0% | | |
| | ※ | 0 | | | |
| 方針4 (18項目) | S | 3 | 17.6% | 65% | △ |
| | A | 8 | 47.1% | | |
| | B | 3 | 17.6% | | |
| | C | 3 | 17.6% | | |
| | ※ | 1 | | | |
| 方針5 (14項目) | S | 5 | 45.5% | 91% | ◎ |
| | A | 5 | 45.5% | | |
| | B | 0 | 0.0% | | |
| | C | 1 | 9.1% | | |
| | ※ | 3 | | | |
| 方針6 (5項目) | S | 0 | 0.0% | 50% | △ |
| | A | 2 | 50.0% | | |
| | B | 0 | 0.0% | | |
| | C | 2 | 50.0% | | |
| | ※ | 1 | | | |
| 方針別 実施状況の 評価 | S+Aの割合が | ■ 90%以上 : ◎ (期待を上回る) ■ 70%以上90%未満 : ○ (期待どおり) ■ 50%以上70%未満 : △ (期待を下回る) ■ 50%未満 : × (期待を顕著に下回る) | | | |

表9 方針別実施状況の評価

| 評価区分 | 該当事業数 | 数値目標のある事業に占める割合 | 左記のうち「期待どおり」(S+A)となった事業の割合 |
|------|-------|-----------------|----------------------------|
| S | 16 | 32% | 74.0% |
| A | 21 | 42% | |
| B | 6 | 12% | |
| C | 7 | 14% | |
| ※ | 8 | | |
| 計 | 58 | | |

表 10 評価区分別の事業数の割合等

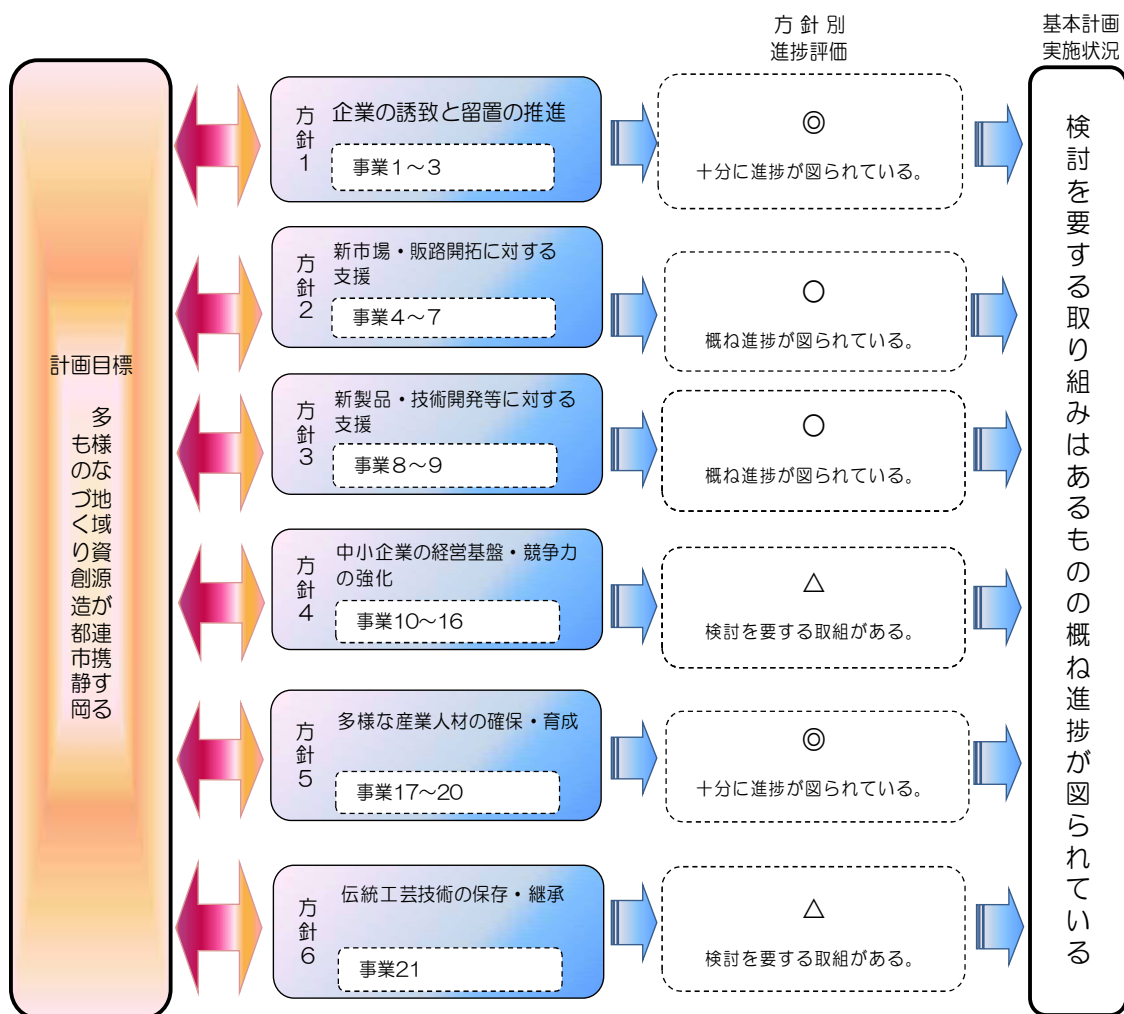


図2 方針別実施状況の評価に基づく第2次基本計画の進捗状況

(添付資料)

各事業の実施状況管理個票

(P18~67)

4 各事業の実施状況管理個票

| ものづくり基本計画 | | 方針（１）企業の誘致と留置の推進 | | 令和元年度 | | | |
|-----------|--|-----------------------|-----------------------|---|---------------|------------------------------|---|
| 事業名 | 事業１ 企業立地の推進 | 予算額 | 589,219 千円 | | | | |
| | | 決算額 | 541,009 千円 | | | | |
| 事業概要 | <p>地域の産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大を図るため、本市の特性を活かした「清水港・ロジステクス」などの戦略産業の集積や、地方創生の一環である企業の本社機能の移転等による、企業の誘致と留置を推進します。</p> <p>具体的には、工場等の設置に係る用地取得費や設備投資費や事務所の賃借に対する助成を行うほか、本市の立地優位性や利便性、優遇施策等についての情報発信・PR活動を、東京事務所と連携して実施します。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地の促進に努めている。</p> <p>令和元年度は、県や東京事務所と連携できた結果、首都圏からの企業誘致に成功した。</p> <p>企業へのヒアリングを基に、ニーズに合わせた助成制度へと見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担うなど、企業に寄り添った支援を実施している。</p> <p>・新規企業立地件数 31件 ・市内企業訪問 336件 ・市外企業訪問 133件 ・企業立地相談件数 261件</p> | | | |
| 成果目標 | (新規企業立地件数) 17件 | | | | | | |
| 1 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | (新規企業立地件数) 17件 | 31 件 |
| | | 政策 | 次代を担う本市を代表する産業を生み出します | | 事業評価 | 次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等 | 今後予定されている大規模立地案件への対応のため、助成制度の策定や、交付事務手続きの簡素化等の検討を行う。 新型コロナウイルスにより、首都圏企業への情報発信を予定していた展示会はオンライン上での開催に変更となり、出張による企業訪問も現状難しいことから、オンラインを活用した誘致交渉ができるよう準備していく。 |
| | 施策 | 企業の誘致と留置の推進 | | | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | | | | |
| 政策 | | 次代を担う本市を代表する産業を生み出します | | | | | |
| | 施策 | 企業の誘致と留置の推進 | | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 企業立地係 | | その他 (特記事項) | | | | |

| | | | | | | | | |
|------|----------------------------------|--|---------------|-----------------------|----------------------|--|-------------------------|----|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（１）企業の誘致と留置の推進 | | 令和元年度 | | | | |
| | 事業名 | 事業２ 恩田原・片山土地区画整理事業 | | 予算額 | 0千円 | | | |
| | | | | 決算額 | 0千円 | | | |
| | 事業概要 | 東名新スマートICの効果を最大限に生かすため、大谷・小鹿ランドデザインで「工業・物流エリア」に位置付けられた恩田原・片山地区において区画整理手法による都市基盤整備を進め、産業集積方針に基づく企業立地を推進します。 | | 取組状況 | 事業結果 | <p>■進出企業の誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理組合や地権者から企業交渉等の委任を受けた事業コーディネーターが令和元年度9月～10月に企業募集を実施し、全13区画を上回る企業の応募があった。 ・応募企業との交渉が始まる中で、同コーディネーターに対して、産業集積方針に基づく企業との優先的な交渉を働きかけ、同方針に沿った企業立地実現を推進した。 <p>■補助制度の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業集積方針に基づく企業の立地を誘導するため、恩田原・片山地区に特化した新たな企業立地補助金制度の概要を策定し、公表した。 <p>■局間連携による事業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進出企業の誘致活動に併せて、用地の創出が着実に進むよう、都市局が土地区画整理事業の進捗管理等を実施し、局間連携による企業立地実現を推進した。 | | |
| | 成果目標 | 組合、コーディネーターと連携した企業立地の推進 | | | | | | |
| | 2 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R1.3.31 現在 | 組合、コーディネーターと連携した企業立地の推進 | 実施 |
| | | | 政策 | 次代を担う本市を代表する産業を生み出します | | | | |
| | | 施策 | 企業の誘致と留置の推進 | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大により、当初計画していた進出企業の決定に影響が生じている。 ・進出を希望する企業がある区画については、着実に立地を実現するために、事業コーディネーターに対して、早期に用地契約の手続きを進めるよう働きかける。 ・その他の区画については、引き続き事業コーディネーターとの情報交換や用地の情報発信、企業の立地ニーズの掘り起こしを行い、産業集積方針に沿った企業立地実現を推進する。 | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | | | | | |
| | 政策 | 次代を担う本市を代表する産業を生み出します | | | | | | |
| 施策 | 企業の誘致と留置の推進 | | | | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 企業立地係 立地環境整備係 | | その他 (特記事項) | | | | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（１）企業の誘致と留置の推進 | | 令和元年度 | |
|-------------|---|--------------------------|------|--|---|
| 事業名 | 事業3 地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 (1)「地域経済牽引事業」承認案件の企業立地支援 | 予算額 | | 0千円 | |
| | | 決算額 | | 0千円 | |
| 事業概要 | (1)地域未来投資促進法「地域基本計画」に沿って承認した、地域特性を活かして、付加価値の高い事業に取り組む「地域経済牽引事業」のうち、工場建設などの立地が伴う案件に対して、設備投資に係る課税の特例措置や、金融機関の低利融資制度などの優遇制度を活用して、効果的に企業立地を支援します。 | 取組状況 | 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ■「地域経済牽引事業計画」承認件数 「静岡市地域基本計画」に基づく承認件数：2件 「静岡市戦略産業等支援強化地域基本計画」に基づく承認件数：7件 ■「地域未来投資促進税制」の活用 ・課税特例のための先進性確認申請件数：4件 ■「地域経済牽引事業」の案件発掘 ・企業向けに「地域未来牽引企業サミット」を開催し、支援制度の紹介や設備投資計画等の情報収集を行った。 ・設備投資を計画している企業に対して、地域経済牽引事業計画の作成支援を個別に実施し、案件発掘につなげた。 | |
| 成果目標 | 地域経済牽引事業計画承認件数10件 | | | | |
| 3 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31現在 | 地域経済牽引事業計画承認件数：10件 9件 |
| | | 政策 次代を担う本市を代表する産業を生み出します | 事業評価 | 次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済牽引事業計画の承認がR2年度に変更となった企業があったため、成果目標の件数に1件足りない結果となった。 ・新型コロナウイルスの感染拡大による企業の設備投資意欲の減退が生じているが、引き続き積極的な制度の情報発信や計画作成支援を実施していく。 ・地域基本計画に基づき共同して支援する立場にある支援機関の優遇制度なども積極的に企業に紹介するなどのマッチングを行う。 ・R2年度より、市街化調整区域において、地域経済牽引事業計画承認企業の立地を可能にする立地基準の運用が始まるため、同基準を活用した更なる企業立地支援を実施していく。 |
| | | 施策 企業の誘致を留置の推進 | | | |
| 産業振興プラン位置付け | 分野 商工・物流 | 政策 次代を担う本市を代表する産業を生み出します | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 立地環境整備係 | その他(特記事項) | | | |

| | | | | | | | | |
|-------------|-------------------------|--|---------------|-----------------------|----------------------|--|-------------------------|----|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（１）企業の誘致と留置の推進 | | 令和元年度 | | | | |
| | 事業名 | 事業 3 地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 （２）「重点促進区域」の開発の実現化 | | 予算額 | 0千円 | | | |
| | | | | 決算額 | 0千円 | | | |
| | 事業概要 | <p>（２）企業立地の受け皿となる用地確保のための取組として、地域基本計画の中で、重点的に地域経済牽引事業の促進を図る「重点促進区域」に位置付けた開発候補地に対して、規制の特例措置の活用や開発に向けた関係部署との協議・調整などを実施し、開発の実現化を図ります。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | | | |
| | 成果目標 | 開発許可基準見直しに向けた関係局との協議・調整 | | | | | | |
| | 3 | 総合計画の位置付け（分野別） | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31現在 | 開発許可基準見直しに向けた関係局との協議・調整 | 実施 |
| | | | 政策 | 次代を担う本市を代表する産業を生み出します | | | | |
| | | 施策 | 企業の誘致と留置の推進 | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <ul style="list-style-type: none"> ・用地の積極的な情報発信をチラシの配布やホームページ等への掲載を通じて実施するとともに、R2年度より運用が始まる新立地基準の紹介も併せて行うことで、進出を検討する企業ニーズの掘り起こしを引き続き実施する。 ・新立地基準をもとに、より具体的な開発許可に向けた関係部署との協議・調整を実施する。 | | |
| | 分野 | 商工・物流 | | | | | | |
| | 政策 | 次代を担う本市を代表する産業を生み出します | | | | | | |
| 産業振興プラン位置付け | 施策 | 企業の誘致と留置の推進 | | | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 立地環境整備係 | | その他 (特記事項) | | | | | |

| | | | | | | | | |
|------|-----------------------|---|----------------|------------------------|----------------------|--|-------------------------------------|----------------|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（２）新市場、販路開拓に対する支援 | | 令和元年度 | | | | |
| | 事業名 | 事業４ 全国規模等の見本市等への出展助成等 | | 予算額 | 8,600 千円 | | | |
| | | | | 決算額 | 7,918 千円 | | | |
| | 事業概要 | <p>中小製造事業者の販路開拓支援や製造業の振興・発展を図るため、全国的な規模の展示会・見本市等への出展や開催に対して助成します。</p> <p>また、「ものづくり産業が盛んなまち」として本市の存在感を高めるため、本市経済を支える基盤産業及び本市を牽引していく可能性を秘めた戦略産業に該当する企業と共同で国内最大の展示会である「機械要素技術展」に出展し、本市ものづくり産業のPR及び市内企業の販路開拓支援を実施します。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | <p>①大規模展示会出展等事業補助金</p> <p>■申請件数：46件 名刺交換数（確認できたもの）10,975件 商談に進んだ件数 1,317件</p> <p>■海外展示会への出展を行った企業数は7社。</p> <p>■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。</p> <p>②大規模展示会共同出展事業</p> <p>■出展展示会：第22回関西機械要素技術展</p> <p>■会期：令和元年10月2日～4日</p> <p>■共同出展社数：4社</p> | | |
| | 成果目標 | 商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）①10% ②7% | | | | | | |
| | 4 | 総合計画の位置付け（分野別） | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | 商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）①10% ②7% | ①12 % ②16 % |
| | | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | |
| | | 施策 | 新市場・販路開拓に対する支援 | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <p>①大規模展示会出展等事業補助金</p> <p>令和2年3月以降の展示会を対象とした申請については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い全て事業廃止となった。令和2年度も7月までは開催中止となっている展示会が多く、申請件数は低調に推移。経済の回復期に向け、補助要件の緩和等に着手することで市内企業の売上回復支援に取り組むとともに、利用促進のための周知に努める。</p> <p>②大規模展示会共同出展事業</p> <p>会期中の共同出展企業の積極的な営業活動により、目標値を大きく上回った。ブース装飾はより視認性の良いデザインを採用し、ブース運営では来場者が足を止める工夫を行った。一方、共同出展企業数は想定を下回ったため、事業の周知強化の必要がある。</p> <p>引き続き大規模な展示会に市内企業と出展し、経済の回復期に向けた市内企業の販路開拓支援を継続するとともに、次年度以降のより効果的な展示会への出展の検討も進めていく。</p> | | |
| | | 産業振興プラン位置付け | 分野 | | | | 商工・物流 | 政策 |
| | 施策 | 新市場・販路開拓に対する支援 | | | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 工業振興係 | | その他 (特記事項) | | | | | |

| | | | | | | |
|------|---------------------|---|----------------|------------------------|---|----------------------|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（２）新市場・販路開拓に対する支援 | | 令和元年度 | | |
| | 事業名 | 事業５ 首都圏におけるプロモーション強化 （１）アンテナショップ開設事業 | 予算額 | 3,766 千円 | | |
| | | | 決算額 | 865 千円 | | |
| | 事業概要 | <p>本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。</p> <p>（１）アンテナショップ開設事業 しずおか中部５市２町中枢連携都市圏事業として首都圏にアンテナショップを開設し、特産品等をPRするとともに、テストマーケティングの場として販路開拓支援を行います。</p> | 取組状況 | 事業結果 | 東京オリンピックの影響等により、５市２町で求める立地条件等を満たし、家賃に収まる物件を探索できず、開設に至らなかった。 | |
| | 成果目標 | 0 | | | | |
| | 5 | 総合計画の位置付け（分野別） | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 (%) |
| | | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 |
| | | 施策 | 新市場・販路開拓に対する支援 | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | | | |
| | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | |
| 施策 | 新市場・販路開拓に対する支援 | | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業政策課 企画係 | | その他 (特記事項) | | | |

| | | | | | | | |
|------|-----------------------|--|-----------------------------|-----------------------------|----------------------|---|--|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（２）新市場・販路開拓に対する支援 | | 令和元年度 | | | |
| | 事業名 | 事業 5 首都圏におけるプロモーション強化 （２）ホビー産業育成支援事業 | | 予算額 | 4,146 千円 | | |
| | | | | 決算額 | 1,884 千円 | | |
| | 事業概要 | <p>本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。</p> <p>(2)ホビー産業育成支援事業 本市が全国に誇るホビー産業を戦略産業として選定し、「ホビーのまち静岡」の認知度向上を図るため、首都圏にてプロモーションイベントを開催します。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | 「模型の世界首都静岡」を活かした魅力づくりを図るため、パンフレット（日本語及び英語版）の作成やインターネット上の動画配信、首都圏PRイベントの開催など多様な媒体を通じたシティブロモーションに取り組んだ。 | |
| | 成果目標 | ホビー関連イベントの来場者数（静岡ホビーショー、クリスマスフェスタ、静岡ホビースクエア（企画展示場を除く）来場者数）160,393人 | | | | | |
| | 5 | 総合計画の位置付け（分野別） | 分野 | 観光・交流 | 進捗率等 | R1.3.31 現在 | ホビー関連イベントの来場者数（静岡ホビーショー、クリスマスフェスタ、静岡ホビースクエア（企画展示場を除く）来場者数）160,393人 |
| | | | 政策 | 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します | | | |
| | | 施策 | 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | 今後も引き続き、対象に向けた効果的なシティブロモーション推進に取り組んでいくとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、感染予防を前提としたイベント開催等の時期、場所、内容等を検討していく。 | |
| | 分野 | 観光・交流 | | | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 政策 | 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します | | | | |
| | | 施策 | 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 工業振興係 | | その他 (特記事項) | | | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（２）新市場・販路開拓に対する支援 | | 令和元年度 | |
|-------------|--|---------------------|------------------------|---|--|
| 事業名 | 事業 5 首都圏におけるプロモーション強化 (3) 伝統工芸品等の展示販売会 | 予算額 | | 5,491 千円 | |
| | | 決算額 | | 5,388 千円 | |
| 事業概要 | <p>本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。</p> <p>(3)伝統工芸品等の展示販売会 本市伝統工芸品等のPRや販路開拓支援、消費者ニーズの把握等を目的とし、都内（御徒町の「2k540」やJR新宿駅西口広場等）で展示販売会を開催します。また、本市が直接出展する全国規模の見本市等(首都圏以外も含む)においても積極的に伝統工芸品のPRに努め、販路開拓の支援に努めます。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>■静岡市伝統工芸品展(御徒町 2 k 5 4 0) 開催日程：令和元年7月11日(木)～16日(火) (6日間) 来場者数：13,000人 出展者：地元伝統工芸職人11名 出展内容：木製家具、小木製品、漆器、和染、塗下駄等</p> <p>■静岡市特産品東京展示会(新宿西口) 開催日程：令和元年10月9日(水)～11日(金) (3日間) 出展者：地元伝統工芸等会場産業従事者等25者 出展内容：木製家具、小木製品、漆器、和染、下駄等</p> | |
| | | | | 成果目標 | (2k540) 来場者数：11,580人 (新宿展) 売上金額5,519千円 |
| 5 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R 2.3.31 現在 |
| | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | (2k540) 来場者数：11,580人 (新宿展) 売上金額5,519千円 | (2k540)13,000人 (新宿展) 4,004 千円 |
| 産業振興プラン位置付け | 政策 | 施策 | 新市場・販路開拓に対する支援 | 事業評価 | <p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■(2k540)参加者数(職人)が減少傾向にあり向上の模索が必要となっている。出展者は個人職人がほとんどであるため、展示会アテンド等の負担が大きく、売上との兼ね合いで小物商品生産者は出展が厳しくなる傾向にある。</p> <p>■(新宿展)台風19号襲来により来場者が減少し売上もそれにつれて低下した。半地下の会場ではあるが来場者数は天候に左右されるのは避けがたい。また来場者の多くが60代以上で若年層の来場が少ない。若年層にも広げていくためにSNS等を活用するなど広報手段の再検討も必要となる。</p> |
| | | 施策 | 新市場・販路開拓に対する支援 | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 地場産業係 | | その他 (特記事項) | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----------------------------|--|------------------------|----------|-----------|---|--|-----------|
| 事業 6 | ものづくり 基本計画 | 方針（２）新市場・販路開拓に対する支援 | | 令和元年度 | | | | |
| | 事業名 | 事業 6 地場産品の販路開拓・販売促進 (1)駿府楽市によるP R・販売促進支援 | | 予算額 | 26,769 千円 | | | |
| | | | | 決算額 | 25,494 千円 | | | |
| | 事業概要 | <p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(1)駿府楽市によるP R・販売促進支援 JR静岡駅構内に立地する駿府楽市で、本市地場産品を市民や来静者へP Rし、地場産品の愛用促進と販路開拓を押し進めます。</p> | | 取組 状況 | 事業結果 | <p>■ J R 静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間25回の展示会を開催した。 R1来場者数：383,820人</p> <p>■ 特産品展示コーナーに係る床修繕、物品修繕、空調保守、清掃、玄関マット賃借の実施</p> | | |
| | 成果目標 | 来場者数 427,620人 | | | | | | |
| | 総合計画 の 位置付け (分野別) | 分野 | 商工・物流 | | 進捗 率等 | R 2 . 3 . 31 現在 | 来場者数 427,620人 | 383,820 人 |
| | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | 事業 評価 | 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等 | <p>・年度末の新型コロナウイルス感染症の外出自粛の影響により来場者数が減少したが、その影響を除けば来場者数は期待どおりであり、企画展示自体は計画どおり実施した。</p> <p>・効果的な新型コロナウイルス感染防止対策を図り、来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備する。</p> <p>・引き続き多様性に富んだ展示を行うことで、地場産品の認知度を高めていく。</p> | |
| | | 施策 | 新市場・販路開拓に対する支援 | | | | | |
| | 産業振興 プラン 位置付け | 分野 | 商工・物流 | | | | | |
| | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | | |
| | 施策 | 新市場・販路開拓に対する支援 | | | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 地場産業係 | | その他 (特記事項) | | | | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（２）新市場・販路開拓に対する支援 | | 令和元年度 | |
|-------------|--|---------------------------|------------------------------|---|--|
| 事業名 | 事業6 地場産品の販路開拓・販売促進 | 予算額 | | 4,312 千円 | |
| | (2)「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援 | 決算額 | | 4,310 千円 | |
| 事業概要 | <p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(2)「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援 多くの市民が行き交う青葉シンボルロードにおいて、職人自らが実演販売・展示販売を行うことで、多くの市民の目に触れる機会を創出し、本市の優れた伝統工芸品に対する市民の誇りと愛情を醸成します。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>■しずおか特産品まつり春の市は、カンヌウィーク（七間町通り）と同時開催し、例年を大きく上回る来場者数を達成した。 春の市来場者数：4,000人</p> <p>■しずおか特産品まつり秋の市は、消費増税の影響もあり、売上は伸びなかったが、実演販売等が好評だった。 秋の市来場者数：2,500人</p> <p>■両回とも、体験コーナーは好評を博し、来場者アンケートでは88%がイベントの継続を望むと回答しており、地場産品のPRを達成したといえる。</p> | |
| 成果目標 | 来場者数 3,370人 | | | | |
| 6 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 R 2.3.31 現在 | 来場者数 3,370人 6,500 人 | |
| | | 政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <p>■引き続き、しずまえ・オクズと連携を図り、静岡の特産品をPRしていく。</p> <p>■開催時には、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底し、来場者が安心して鑑賞、購入できるような環境整備を行う。</p> | |
| | | 施策 新市場・販路開拓に対する支援 | | | |
| 産業振興プラン位置付け | 分野 商工・物流 | | | | |
| | | 政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | |
| | | 施策 新市場・販路開拓に対する支援 | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 地場産業係 | | その他 (特記事項) | | |

| | | | | | | |
|-------------|------------------------|--|------------------------|--|---|---------------|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（２）新市場・販路開拓に対する支援 | | 令和元年度 | | |
| | 事業名 | 事業 6 地場産品の販路開拓・販売促進 (3)「産業フェアしずおか」開催補助金 | 予算額 | | 14,550 千円 | |
| | | | 決算額 | | 14,550 千円 | |
| | 事業概要 | <p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(3)「産業フェアしずおか」開催補助金 産業フェアしずおかの開催に対して助成することで、伝統工芸品の良さを再認識してもらい、「買ってもらい（販売促進）」、「販路を拡大」することにより、伝統工芸品を中心に地場産品の振興を図ります。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>■来場者数：77,800人</p> <p>■近隣市外にもチラシを配布したことから、市外からの来場者が増えている。</p> <p>■来場者数は目標値を下回ったが、来場者の滞留時間が長かったため、出展者からも盛況との意見が多く、本市地場産品のPRはできた。</p> | |
| | 成果目標 | 来場者数：88,950人 | | | | |
| | 6 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 |
| 政策 | | | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | |
| 施策 | | 新市場・販路開拓に対する支援 | 事業評価 | <p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>消費税増税などの影響もあり、客単価が下がっている。対策としてキャッシュレス決済の導入や地場産業ゾーンに特化した満足度調査が必要である。</p> | | |
| 分野 | | 商工・物流 | | | | |
| 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | | |
| 産業振興プラン位置付け | 施策 | 新市場・販路開拓に対する支援 | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 地場産業係 | | その他 (特記事項) | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|-------------------------|---|---------------|------------------------|--|------------------------------|--|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（２）新市場・販路開拓に対する支援 | | 令和元年度 | | | |
| | 事業名 | 事業 7 中小企業の海外展開に対する支援 (1)国際食品見本市の出展等による支援 | | 予算額 | 2,910 千円 | | |
| | | | | 決算額 | 2,454 千円 | | |
| | 事業概要 | (1)国際食品見本市の出展等による支援 市内中小企業等の海外展開に際し、国際食品見本市の出展や海外販路を有する国内商社との個別商談会等の開催を通じて、直接輸出、間接輸出の両面から独自で取り組んでいけるよう支援します。 | | 取組状況 事業結果 | <FOODTAIPEI出展> 市内企業2社出展／商談成約数2件 <間接輸出商談会> 対象国：台湾、シンガポール、タイ 成約件数17件 | | |
| | 成果目標 | ①見本市 成約4件 ②間接輸出 商談成約12件 | | | | | |
| | 7 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 R2.3.31 現在 | ①見本市 成約4件 ②間接輸出 商談成約12件 | ① 2 件 ② 17 件 |
| | | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | 事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | FOODTAIPEI 商談自体は86件あったものの、成約数に関しては目標数値の半分となる2社にとどまった。 間接輸出商談会 目標となる成約件数12件を大きく上回り、17件となった。 2年度に関しては新型コロナウイルスの影響により、事業中止となっている。 |
| 施策 | | 新市場・販路開拓に対する支援 | | | | | |
| 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 施策 | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業政策課 中小企業支援係 | | その他 (特記事項) | | | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（２）新市場・販路開拓に対する支援 | | 令和元年度 | |
|-----------|--|---------------------------|---------------|----------------------|--|
| 事業名 | 事業 7 中小企業の海外展開に対する支援 (2)海外で開催される見本市への出展助成等 | | 予算額 | 8,600 千円 | |
| | | | 決算額 | 7,918 千円 | |
| 事業概要 | (2)海外で開催される見本市への出展助成等 中小製造事業者の海外における販路開拓支援や製造業の振興・発展を図るため、海外で開催される展示会・見本市等への出展や開催に対して助成します。 | | 取組状況 | 事業結果 | 大規模展示会出展等事業補助金 ■申請件数：46件 ■うち、海外展示会への出展を行った企業数は7社。 名刺交換数（確認できたもの）204件 商談に進んだ件数 71件 ■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。 |
| 成果目標 | 商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）10% | | | | |
| 7 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 | R 2.3.31 現在 | 商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）10% 34 (%) (海外展示会のみ抽出) |
| | | 政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | 令和元年度においては、申請件数が前年度の5件に対して2件増加した。商談へ進んだ割合も高く、効果的な支援を行うことができた。 令和2年度においては、海外展示会の中止や海外渡航の制限等により、令和2年7月時点で交付決定件数は0件。 国内展示会出展事業に対する補助要件を緩和する一方、海外展示会出展事業に対してはコロナウイルスの影響を鑑み緩和は行わない。 令和3年度以降については、海外渡航に関する制限の状況等を確認しつつ、経済の回復期に向けた支援を検討していく方針。 |
| | | 施策 新市場・販路開拓に対する支援 | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 商工・物流 | | | |
| | 政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | |
| | 施策 新市場・販路開拓に対する支援 | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 工業振興係 | | その他 (特記事項) | | |

| | | | | | | | | |
|------|------------------------|---|---------------|------------------------|----------|--|--|----|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（３）新製品・技術開発等に対する支援 | | 令和元年度 | | | | |
| | 事業名 | 事業 8 新商品開発等に対する支援 (1)新商品開発に対する助成 | | 予算額 | 3,000 千円 | | | |
| | | | | 決算額 | 3,000 千円 | | | |
| | 事業概要 | <p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(1)新商品開発に対する助成 中小製造事業者を対象に、新商品等の開発に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の開発意欲の向上や製造業の振興・発展を図ります。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | <p>■申請件数：4件 ■採択件数：3件</p> <p>採択企業に対しては、試作品の完成に向け随時フォローアップを行い、全ての事業を年度内に完了することができた。併せて産業財産権出願事業補助金の活用も推進し、企業競争力の強化につなげた。</p> | | |
| | 成果目標 | 新商品等開発支援件数 3件 | | | | | | |
| | 8 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | 新商品等開発支援件数 3件 | 3件 |
| | | 産業振興プラン位置付け | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <p>事業の完了後も動向を対象企業にヒアリングし、他の支援制度の利用促進等を通じて出口（販路開拓）支援を行っていく。また、令和2年度は、販路拡大を見据えた商品ラインナップの拡充を支援するため、補助金の取り扱いを拡充する。</p> | |
| | | | 施策 | 新製品・技術開発等に対する支援 | | | | |
| 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 工業振興係 | | その他 (特記事項) | | | | | |

| | | | | | |
|-------------|-------------------------------------|---|------------------------------|---|---|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（３）新製品・技術開発等に対する支援 | | 令和元年度 | |
| | 事業名 | 事業 8 新商品開発等に対する支援 (2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援 | | 予算額 | 6,437 千円 |
| | | | | 決算額 | 6,135 千円 |
| | 事業概要 | <p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援 デザイナー等とのづくり産業の事業所等をマッチングさせ、両者の協働によって新商品等を開発する「ニューウェーブしずおか開発事業」や「しずおかMIRAI designプロジェクト」を実施し、新商品開発の促進を図ります。</p> | | 取組状況 | <p>事業結果</p> <p>■（ニューウェーブしずおか創造事業） 地元の意欲的地場産業者が参加し、プロデューサー指導のもと公募デザイナーとの協働により、デザイン開発を実施。試作を行い、P R ツール等を作成しつつ H P 等で告知し、「ギフトショー」に出展。販路開拓を実施した。</p> <p>参加事業者：7者 公募デザイナー：7者 開発点数：22点 展示会出展：1回(東京インタナショナルギフトショー)</p> |
| | 成果目標 | (ニューウェーブしずおか創造事業) 開発点数30点 | | | |
| 8 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 R 2 . 3 . 31 現在 | (ニューウェーブしずおか創造事業) 開発点数30点 | 22 点 |
| 産業振興プラン位置付け | 政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 施策 新製品・技術開発等に対する支援 | 事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <p>■（ニューウェーブ） 開発点数は開発内容により大きく左右されるため必ずしも少ない結果とはいえない。今後は開発品の一層の商品化を図っていく必要がある。</p> | |
| 産業振興プラン位置付け | 政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 施策 新製品・技術開発等に対する支援 | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 地場産業係 産業政策課 新産業係 | | | | その他(特記事項) |

| ものづくり基本計画 | | 方針（３）新製品・技術開発等に対する支援 | | 令和元年度 | |
|-----------|--|---------------------------|------|---|---|
| 事業名 | 事業 8 新商品開発等に対する支援 | 予算額 | | 2,000 千円 | |
| | (2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援 | 決算額 | | 1,543 千円 | |
| 事業概要 | <p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援</p> <p>デザイナー等とのづくり産業の事業所等をマッチングさせ、両者の協働によって新商品等を開発する「ニューウェーブしずおか開発事業」や「しずおかMIRAI designプロジェクト」を実施し、新商品開発の促進を図ります。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>■ マッチング件数：6件（いずれも指定管理事業による）</p> <p>しずおかMIRAI designプロジェクト：5件</p> <p>その他個別マッチング：1件</p> <p>■ しずおかMIRAI designプロジェクトでは静岡の地場産業、伝統産業メーカーとクリエイターをマッチング。企画、商品開発段階からクリエイターが関与することで、マーケットやユーザーニーズを意識したものづくりと、メーカーの新しい販路開拓の一助とすることができた。</p> <p>■ 企業からのデザイン相談を受け付け、デザインに関する企業の相談にアドバイスをを行い、必要に応じてクリエイターの紹介を行った。</p> | |
| 成果目標 | クリエイターと企業のマッチング件数 5件 | | | | |
| 8 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 | R1.3.31 現在 | クリエイターと企業のマッチング件数 5件 |
| | | 政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <p>■ 商品開発にとどまらず、事業展開や経営戦略にもデザインの要素を取り入れた提案を行っていく。特に新型コロナウイルス感染症の影響により新しいビジネスモデルの構築が求められており、ECの活用など新たな販路展開を意識した商品開発を行っていく。</p> |
| | | 施策 新製品・技術開発等に対する支援 | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 商工・物流 | | | |
| | 政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | |
| | 施策 新製品・技術開発等に対する支援 | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 地場産業係 産業政策課 新産業係 | その他(特記事項) | | | |

| | | | | | | | | |
|-------------|---------------------|---|-----------------|------------------------|----------------------|---|----|----|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（３）新製品・技術開発等に対する支援 | | 令和元年度 | | | | |
| | 事業名 | 事業８ 新商品開発等に対する支援 (3)専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施 | | 予算額 | 70,638千円のうちの一部 千円 | | | |
| | | | | 決算額 | 70,638千円のうちの一部 千円 | | | |
| | 事業概要 | <p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(3)専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施 専門家による指導のもと、中小企業が新商品開発から販売まで一貫したマーケティング手法を学ぶ「静岡おみやプロジェクト」により、新商品開発のノウハウ習得等を支援します。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | <p>【静岡おみやプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト期間 令和元年6月中旬～令和2年3月末 ・上限枠：6社 ・マーケティング戦略に基づいた6商品が2月時点で完成。 | | |
| | 成果目標 | 6件 | | | | | | |
| | 8 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | 6件 | 6件 |
| | | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | |
| | | 施策 | 新製品・技術開発等に対する支援 | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <p>【静岡おみやプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月以降新型コロナウイルスの影響により成果発表会、販売会が軒並み中止となっている。令和2年度の商品と併せて、販路促進に努めていく。 | | |
| 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | | | | | | |
| | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業政策課 企画係 | | その他 (特記事項) | | | | | |

| | | | | | | | | |
|------|-----------------------|--|-----------------|------------------------|----------|--|---|------|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（３）新製品・技術開発等に対する支援 | | 令和元年度 | | | | |
| | 事業名 | 事業９ 産業財産権出願に対する助成 | | 予算額 | 1,800 千円 | | | |
| | | | | 決算額 | 1,800 千円 | | | |
| | 事業概要 | <p>産業財産権の出願に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の技術開発等の意欲向上や産業財産権保護の必要性に対する意識啓発を図ります。</p> <p>また、日本貿易振興機構（JETRO）では海外における知的財産権の保護に関する相談を受け付けているため、市内企業等から相談があった場合には窓口を案内するなど、連携した支援を実施していきます。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | <p>静岡県発明協会や市内の弁理士と連携し、市内中小製造事業者の技術保護に対するニーズに応えることができた。</p> <p>また、外国出願に対する問い合わせに対しては、日本貿易振興機構（JETRO）静岡情報センターと連携を図り、支援につなげた。</p> <p>■特許出願 : 15件 ■実用新案登録出願 : 3件</p> | | |
| | 成果目標 | 産業財産権出願支援件数 18件 | | | | | | |
| | 9 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | 産業財産権出願支援件数 18件 | 18 件 |
| | | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | 産業財産権出願に対する需要は底堅く、引き続き静岡県発明協会と連携を図り、補助制度を活用しながら企業の積極的な産業財産権出願を促進することで、市内製造業の技術保護につなげたい。 | |
| | | 施策 | 新商品・技術開発等に対する支援 | | | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | | | | | |
| | | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | |
| | | 施策 | 新商品・技術開発等に対する支援 | | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 工業振興係 | | その他 (特記事項) | | | | | |

| | | | | | | |
|------|-----------------------|---|------------------|------------------------------|---|-----------------------------------|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | | |
| | 事業名 | 事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (1)事業高度化機械設備設置事業補助金 | | 予算額 | 40,000 千円 | |
| | | | | 決算額 | 31,615 千円 | |
| | 事業概要 | <p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(1)事業高度化機械設備設置事業補助金 中小製造事業所に対し、生産性の向上に資すると認められる機械設備設置経費に対する助成を行うことにより、地域の産業の活性化及び高度化を図ります。</p> | | 取組状況 | <p>事業結果</p> <p>企業や金融機関からの問い合わせに対しては、早期に対応し、積極的に訪問活動を実施。申請の支援を行うとともに事業課題のヒアリング等も実施、本補助金以外の支援にもつなげられるよう活動を行った。</p> <p>■補助金交付件数：21件 ■補助金交付金額：31,615千円</p> | |
| | 成果目標 | 機械設備設置件数 30件 | | | | |
| | 10 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 R2.3.31 現在 | 機械設備設置件数 21 件 70 (%) 30件 |
| | | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | |
| | | 施策 | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | 事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <p>消費税増税前は企業の設備投資意欲が高かったものの、増税後は設備投資意欲が抑えられ、申請が低調に推移し、目標を下回ったため、目標を達成できなかった。</p> <p>令和2年度は補助率を拡充し、経済の回復期を見据えた機械設備の導入を支援していく。</p> <p>また、先端設備導入計画や地域経済牽引事業計画の承認企業及び候補企業に制度の周知を進めることで、他制度と連携をした企業支援を図っていきたい。</p> | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | | | |
| | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | |
| | 施策 | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 工業振興係 | | その他 (特記事項) | | | |

| | | | | | | |
|-------------|-------------------------|--|-----------------|--|-------------------|---|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | | |
| | 事業名 | 事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (2)現場改善支援事業 | | 予算額 | 63,606千円のうちの一部 千円 | |
| | | | | 決算額 | 63,606千円のうちの一部 千円 | |
| | 事業概要 | <p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(2)現場改善支援事業 市内中小企業が抱える経営課題の解決に向け、企業OBを中心とした経験豊かな専門アドバイザーを派遣し、現場作業改善（5S）や技術力向上、製品の高付加価値化を支援するほか、AIやIoTに関する相談等についても支援します。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | <p>■現場改善支援事業所数：16事業所</p> <p>■成果発表会：3講座（現場改善関連2講座、IT関連1講座） 71名参加</p> |
| | 成果目標 | 現場改善支援事業所数 | | | | |
| 10 | 総合計画の位置付け（分野別） | 分野 商工・物流 | 進捗率等 R2.3.31 現在 | 現場改善支援事業所数： 16 者 | | |
| 産業振興プラン位置付け | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 事業評価 | <p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>・前年度の参加事業者が別の内容の業務改善に取り組んでいる実績が含まれており、新規事業者の呼び込みを図る必要がある。</p> | | |
| | 施策 | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | | |
| | 分野 商工・物流 | 政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業政策課 中小企業支援係 | | その他（特記事項） | | | |

| | | | | | | |
|----|------------------------|--|----------|--|-------------------|--|
| 事業 | ものづくり 基本計画 | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | | |
| | 事業名 | 事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定 | | 予算額 | - 千円 | |
| | | | | 決算額 | - 千円 | |
| | 事業概要 | <p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定 先端設備等導入計画について市が認定を行い、取得した先端設備について、初年度から3年分の固定資産税軽減措置を受けることができるほか、認定を受けた企業が中小企業融資制度を利用するときは、信用保証料の一部を補助します。</p> | | 取組 状況 | 事業結果 | <p>■新規認定件数：141件</p> <p>■変更認定件数：49件</p> |
| | 成果目標 | 新規認定件数：150 | | | | |
| 10 | 総合計画の 位置付け (分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗 率等 | R1.3.31 現在 | 新規認定件数：150件 | 141 件 |
| | 産業振興 プラン 位置付け | 政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 事業 評価 | 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等 | 今後も適切に認定事務の執行をする。 | |
| | | 施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | | |
| | 担当課等 | 経済局商工部 産業政策課 企画係 | | その他 (特記事項) | | |

| | | | | | | |
|---------------------|----------------------------|--|---------------|--------------------|--|--|
| 事業 | ものづくり 基本計画 | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | | |
| | 事業名 | 事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (4) I T 技術の活用・促進に関する検討 | | 予算額 | 3,600 千円 | |
| | | | | 決算額 | 3,575 千円 | |
| | 事業概要 | <p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(4) I T 技術の活用・促進に関する検討 I T 技術導入に対する状況や姿勢は企業によって差があるため、静岡県 I O T 活用研究会や静岡商工会議所の I T 支援プロジェクトチーム等と連携しながら、きめ細かな支援策について検討を進めます。</p> | | 取組 状況 | 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 静岡商工会議所と連携してITなんでも相談窓口を設置。 ■ 窓口相談、巡回指導、セミナーを実施し、IT導入の促進並びに支援に努めた。 |
| | 成果目標 | IT導入に関する支援件数 100件 | | | | |
| 10 | 総合計画 の 位置付け (分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗 率等 | R 2 . 3 . 31 現在 | IT導入に関する支援件数 100件 | 104 (件) |
| 産業振興 プラン 位置付け | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | 事業 評価 | 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等 | 今後、新型コロナウイルス感染症による「新たな生活様式」に伴い、更なる I T の導入及び活用に向けた相談ニーズが多く見込まれる。このことから、さらに支援の裾野を広げていくため、支援体制の強化を図っていく。 |
| | 施策 | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | | |
| | 分野 | 商工・物流 | | | | |
| 産業振興 プラン 位置付け | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | 事業 評価 | 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等 | 今後、新型コロナウイルス感染症による「新たな生活様式」に伴い、更なる I T の導入及び活用に向けた相談ニーズが多く見込まれる。このことから、さらに支援の裾野を広げていくため、支援体制の強化を図っていく。 |
| | 施策 | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | | |
| | 分野 | 商工・物流 | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業政策課 中小企業支援係 | | その他 (特記事項) | | | |

| | | | | | | |
|----|----------------|--|-----------------|---|----------|--|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | | |
| | 事業名 | 事業11 事業承継に対する支援 | | 予算額 | 6,800 千円 | |
| | | | | 決算額 | 6,765 千円 | |
| | 事業概要 | <p>市内中小企業が円滑な事業承継を行うことは、次世代に技術やノウハウを引き継ぐとともに、雇用を確保し、市内経済活動への貢献を続けることにつながるため、国の動きに連動するとともに、関係機関と連携のもと、事業承継の支援体制を強化します。</p> <p>(1)相談及び相談者の課題等に応じた専門家の選定等 (2)専門家の派遣 (3)啓発セミナーの開催及びチラシ等による周知</p> | | 取組状況 | 事業結果 | <p>■静岡商工会議所との連携により、事業承継に係る支援体制を構築。 ■経営者等への啓発をはじめ、事業承継に関する相談及び専門家派遣の支援を行った。</p> |
| | 成果目標 | 専門家派遣を通じた支援件数 80件 | | | | |
| 11 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 R2.3.31 現在 | 専門家派遣を通じた支援件数 80件 | 80 (件) | |
| | 産業振興プラン位置付け | <p>政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化</p> | 事業評価 | <p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>事業承継の必要性を感じていない潜在的に課題を抱えている市内事業者に対しても支援を行っていく。</p> | | |
| | 担当課等 | 経済局商工部 産業政策課 中小企業支援係 | | その他(特記事項) | | |

| | | | | | | | |
|----|----------------|--|------------------------|---------------|----------------------|---|---------|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | | | |
| | 事業名 | 事業12 中小企業融資制度による支援 | | 予算額 | 273,385 千円 | | |
| | | | | 決算額 | 121,478 千円 | | |
| | 事業概要 | <p>市内中小企業が経営上必要な資金を金融機関からの融資を受ける際、利子及び保証料の一部を助成します。</p> <p>(1)各貸付金に対する利子補給 (市内16取扱金融機関に対し、上期・下期に利子補給)</p> <p>(2)小規模事業者経営改善（マル経）資金に対する利子補給 (借入者の委任を受けた商工会等に対し、年1回利子補給)</p> <p>(3)信用保証料に対する保証料補給 (静岡県信用保証協会の信用保証料の一部を補給)</p> | | 取組状況 | 事業結果 | ■桜えび不漁により経営に苦しむ関連商工事業者を支援する融資制度を新設し、社会情勢に応じた支援に努めた。 | |
| | 成果目標 | 融資制度申込件数 1,110件 | | | | | |
| 12 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | 融資制度申込件数 1,110件 | 1,129 件 |
| | 産業振興プラン位置付け | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <p>・融資制度申込件数が年々減少している。金融機関による金利競争など外的要因もあるものの、利用いただく事業者や金融機関の声を逐次聴取し、時勢や状況に応じた使いやすい制度へ向け見直しを図っていく。</p> <p>・各融資制度・保証料補給事業については制度説明会などを利用し引き続き周知していく。</p> | |
| | | 施策 | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | | |
| | | 分野 | 商工・物流 | | | | |
| | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | |
| | | 施策 | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | | |
| | 担当課等 | 経済局商工部 産業政策課 中小企業支援係 | | その他 (特記事項) | | | |

| | | | | | | |
|------|--------------------|--|-----------------|---|----------|---|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | | |
| | 事業名 | 事業13 企業OB人材等の活用 | | 予算額 | 1,790 千円 | |
| | | | | 決算額 | 1,297 千円 | |
| | 事業概要 | <p>企業と企業OB人材等とのマッチングの機会を提供することで、企業OB人材等が持つ知識・経験・ノウハウ等を活用し、企業が持つ様々な経営課題の解決を図る取り組みを推し進めます。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | <p>■新現役交流会の開催 経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験・知識を有する企業OB等（＝新現役）とのマッチングを目的とした交流会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名：第2回 静岡市新現役交流会 ・日時：令和元年9月9日（月）13:00～17:30 ・場所：グランシップ 6階 交流ホール ・参加企業数：21社 ・参加新現役数：47名 ・延べ面談数：90回 ・マッチング率：12社/21社≒57.1% |
| | 成果目標 | マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合） | | | | |
| 13 | 総合計画の位置付け（分野別） | 分野 商工・物流 | 進捗率等 R2.3.31 現在 | マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合） | 57.1 % | |
| 産業 | 産業振興プラン位置付け | 政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります 施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 事前の申し込みでは66名の新現役が参加予定であったが、交流会前日から当日にかけて大型の台風が首都圏を直撃し、交通網が麻痺したことにより、当日の欠席が多数発生し、結果的にマッチング率の低下に繋がったと考えられる。 より多くの新現役が交流会に参加することがマッチング率や満足度の増加に繋がることから、交流会当日に起こり得るトラブルへの対策と新現役参加に繋がる周知活動に注力し、次年度の交流会に備えていきたい。 | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 工業振興係 | | その他（特記事項） | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|----------------------|---|------------------------|-------|-----------------------------|--|----|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | | | |
| | 事業名 | 事業14 中小企業等の表彰事業 (1)CSR活動表彰事業 | | 予算額 | 1,749 千円 | | |
| | | | | 決算額 | 1,506 千円 | | |
| | 事業概要 | <p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会にて企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乗せします。</p> <p>(1)CSR活動表彰事業 事業活動の維持拡大と社会的健全性のある経営を実践する中小企業を表彰することで、当該企業の企業価値の向上、経営基盤や競争力の強化を図ります。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | <p>■表彰企業数：2件 ■表彰企業の情報発信：7件</p> | |
| | 成果目標 | 表彰企業数：6件 | | | | | |
| 14 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31現在 | 表彰企業数：6件 | 2件 |
| 産業振興プラン位置付け | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 事業評価 | <p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> | <p>経済団体や中小企業が集まる場での直接的な制度の周知など、応募件数を増やすための取組を行う。また、金融機関を通じて、表彰企業のインセンティブついて周知を促す。市民局、また企画局が実施するSDGsのイベント等と連携し、更なる表彰企業の情報発信を実施していく。</p> | |
| | | 施策 | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | | |
| 分野 | 商工・物流 | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | 施策 |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業政策課 新産業係 | | その他 (特記事項) | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|------------------------------------|---|---------------|-------|----------------------|---|-----|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | | | |
| | 事業名 | 事業14 中小企業等の表彰事業 (2)中小事業者技術表彰事業 | | 予算額 | 1,135 千円 | | |
| | | | | 決算額 | 967 千円 | | |
| | 事業概要 | <p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乗せします。</p> <p>(2)中小事業者技術表彰事業 新規又は独創性の高い技術を持ち、意欲的に事業活動を展開している中小製造事業所を表彰することにより、技術開発意欲の向上等を図ります。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | <p>■ 中小製造者の技術表彰制度の実施</p> <p>■ 表彰事業者数 5 社</p> <p>■ 関係機関や事業者への訪問を通じて募集活動を行い、応募事業者の増加に努めた。 また、受賞事業者のテレビや新聞、雑誌等のメディアへの露出機会を増やすことで、制度自体の認知度向上を図った。</p> | |
| | 成果目標 | 受賞事業者が広報された件数 3 件 | | | | | |
| 14 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R 2.3.31 現在 | 受賞事業者が広報された件数 3 件 | 6 件 |
| 政策 | | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <p>■ 企業付加価値の向上を図るため、ビジネス情報誌を利用した表彰制度や受賞事業者のPRを行い、更なる周知と応募事業者の発掘に取り組んでいく。</p> | |
| 施策 | | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | | | |
| 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | | | | | |
| | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | | |
| | 施策 | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 企業立地係 (令和元年度担当) | | その他 (特記事項) | | | | |

| | | | | | | | |
|----------|----------------------------|---|------------------------|----------|----------|---|---|
| 事業 14 | ものづくり 基本計画 | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | | | |
| | 事業名 | 事業14 中小企業等の表彰事業 (3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業 | | 予算額 | 1,262 千円 | | |
| | | | | 決算額 | 1,191 千円 | | |
| | 事業概要 | <p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会にて企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乘せします。</p> <p>(3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業 主に女性をはじめとした多様な人材の活躍促進に積極的に取組む企業を表彰することで、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。</p> | | 取組 状況 | 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・企業表彰開催 (令和2年1月10日) ・いきいきワークスタイル通信の更新 ・表彰企業紹介冊子の作成 ・表彰企業数：4社 | |
| | 成果目標 | 表彰企業数 5件 | | | | | |
| | 総合計画 の 位置付け (分野別) | 分野 | 商工・物流 | | 進捗 率等 | R2.3.31 現在 | 表彰企業数 5件 4社 |
| | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | 事業 評価 | 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、令和2年度の事業実施は見送り。 ・令和3年度以降に企業側の様子も確認しながら実施の方策を検討する。 |
| | | 施策 | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | | |
| | 産業振興 プラン 位置付け | 分野 | 商工・物流 | | | | |
| | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | |
| 施策 | | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係 | | その他 (特記事項) | | | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | | |
|-----------|--|--|-----------|--|--|--|
| 事業名 | 事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (1)「ホビーのまち静岡」推進事業 | 予算額 | | 82,202 千円 | | |
| | | 決算額 | | 78,638 千円 | | |
| 事業概要 | <p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(1)「ホビーのまち静岡」推進事業 本市の地域資源であるホビーを活用し、「ホビーのまち静岡」として市内外に情報発信することで、市のブランド化及び地域経済の活性化を図ります。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>・ホビー推進協議会静岡が実施するホビーのまち静岡推進事業に（クリスマスフェスタ2019の開催、静岡ホビースクエアの運営等）に対し、補助金の交付等支援を実施 補助金交付 1件</p> <p>・静岡ホビースクエアの維持管理業務の実施 施設修繕 1件</p> <p>・清水港開港120周年記念事業と連携したホビーイベントの開催</p> <p>・ものづくり教育推進事業としてプラモデルをテーマにした座学とプラモデル工作出前授業を実施 市内小学校9校</p> <p>・ものづくり教育推進事業として静岡ホビースhow小中高校生招待日に参加した市内小学校に対し送迎バスの手配等参加を支援 対象児童2,800人</p> | | |
| 成果目標 | <p>①クリスマスフェスタ 来場者数44,000人</p> <p>②静岡ホビースクエア 来場者数37,768人</p> <p>③ものづくり教育推進事業の結果、プラモデルが好きになった児童の割合73%</p> | | | | | |
| 15 | 総合計画の位置付け(分野別) | <p>分野 観光・交流</p> <p>政策 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します</p> <p>施策 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり</p> | 進捗率等 | R 2.3.31 現在 | <p>①クリスマスフェスタ 来場者数44,000人</p> <p>②静岡ホビースクエア 来場者数37,768人</p> <p>③ものづくり教育推進事業の結果、プラモデルが好きになった児童の割合73%</p> <p>①44,500 人</p> <p>②35,019 人</p> <p>③94 %</p> | |
| | 産業振興プラン位置付け | <p>分野 観光・交流</p> <p>政策 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します</p> <p>施策 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり</p> | 事業評価 | <p>次年度に向けた改善点</p> <p>・目標の未達成理由等</p> | <p>今後も引き続き、ブランド力のある地域資源を活用した「ホビーのまち静岡」を推進していくとともに、次代のプラモデルファン獲得に向け、模型メーカーや関係機関と連携し、小学生等を対象とした「ものづくり教育」に取り組んでいく。</p> | |
| | 担当課等 | <p>経済局商工部</p> <p>産業振興課 工業振興係</p> | その他(特記事項) | | | |
| | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------|---------------------------|--|---------------------------|---|--|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | |
| | 事業名 | 事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (2)地域産業振興ブランド認証事業 | | 予算額 | 4,075 千円 |
| | | | | 決算額 | 3,383 千円 |
| | 事業概要 | <p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(2)地域産業振興ブランド認証事業 市民投票で「100年先まで大切に残していきたい逸品」として選ばれた商品を「しずおか葵プレミアムAWARD」として認証し、PRや企業支援を行うことで、本市のシティプロモーションの推進及び地域経済の活性化を図ります。</p> | | 取組状況 | <p>事業結果</p> <p>■市民投票実績 投票期間 令和元年8月20日～10月31日 エントリー数 31点 投票総数 23,647票 認証商品数 6点</p> <p>■PRイベント実績 ①WeWorkイベント「シズオカナイトVol.1」(5/22) ②プロレスリング フリーダムズ (6/16) ③駿府楽市「しずおか素敵なお土産」(10/3-10/9) ④よい仕事おこしフェア (10/7.8) ⑤しんきんフェア静岡2019 (10/29) ⑥産業フェアしずおか2019 (11/23.24) ⑦コジマ「グランドKING CUP」 ⑧WeWorkイベント「シズオカナイトVol.7」(11/26) ⑨静岡市交流会in東京 (12/18) ⑩静岡 食の商談会in東京 (1/29) ⑪駿府匠宿「現代の名工展」(2/19-2/24) ⑫駿府匠宿「しずおか葵プレミアム展」(3/19-3/31)</p> |
| | 成果目標 | 展示販売会等実施回数 12回 | | | |
| 15 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 R2.3.31 現在 | 展示販売会等実施回数 12回 | 12回 |
| 産業振興プラン位置付け | 政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | 事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | 「しずおか葵プレミアムAWARD」の認知度と認証商品の好感度・推奨度を高めることでブランド価値の向上を図るため、市内外へ広く情報発信できる専用HPや学生を葛生した積極的なPRを実施する。 | |
| | 政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | 施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 企業立地係 | | その他(特記事項) | | |

| | | | | | |
|----|----------------|---|--|------------------------------|---|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | |
| | 事業名 | 事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業 | | 予算額 | (協議会への負担金) 1,350 千円 |
| | | | | 決算額 | (協議会への負担金) 1,350 千円 |
| | 事業概要 | <p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業 中山間地「オクシズ」に漆の木を植林するとともに、漆を採取したり、塗ったりする職人を育成し、地域の文化財を守る仕組みを築き、「漆-japan-の里」としてのブランド化を図るとともに、伝統工芸技術の継承を図ります。</p> | | 取組状況 | 事業結果 【令和元年度実績】※協議会事業実績 (調査事業) 賦存状況調査、試験植樹、成分分析の実施 (人材育成事業) 漆掻き技術の映像記録化、担い手育成講座の開催 (付加価値向上事業) 先進地視察（茨城県日立大宮市） (普及啓発事業) 各種イベントへのブース出展 ほか |
| | 成果目標 | 漆植樹面積 0.5ha | | | |
| 15 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 農林水産 | 政策 多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します | 進捗率等 R1.3.31 現在 | 漆植樹面積 0.5ha 0.3 ha |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 農林水産 | 政策 多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します | 事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | R2年度については、植樹面積の拡大に努め、協議会の各種事業を計画的に展開すると共に事業のブランド化を図ることで人々の取組みへの理解を深め、事業継続のための資金開発に繋げ、10年後の生産・流通を目指す。 |
| | | 施策 地域資源を活かした新しい産業の創出 | 施策 地域資源を活かした新しい産業の創出 | | |
| | 担当課等 | 経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係 | | その他 (特記事項) | ※H31～R3 農水省山村活性化振興交付金事業 |

| | | | | | | |
|------|-----------------------|---|------------------------|------------------------------|--|--|
| w | ものづくり基本計画 | 方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | 令和元年度 | | |
| | 事業名 | 事業16 地場産品の情報発信・愛用推進 | | 予算額 | 252,597 千円 | |
| | | | | 決算額 | 248,432 千円 | |
| | 事業概要 | <p>JR静岡駅構内の駿府楽市と郊外に立地する駿府匠宿において、本市の伝統工芸品を中心とした地場産品の展示や各種PRによる情報発信を行います。</p> <p>なお、駿府匠宿の現状は、来場者数は減少傾向にあり、伝統工芸の情報発信拠点としての役割が弱くなっています。このような状況を改善するため、経営面からのアプローチ、あり方からのアプローチを行い、伝統工芸の振興と持続可能な施設運営を目指しているところです。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 駿府楽市「特産品展示コーナー」来場者数 383,820人 25回の企画展示を実施 駿府匠宿 来場者数 169,700人 駿府匠宿 利用者満足度 99.4% 創作体験利用者数 15,415人 誘客イベントの開催 46回等 専門家による検証（経営面、あり方）を終え、民間事業者へのサウンディングを実施 当該施設の今後のあり方を検討 |
| | 成果目標 | <p>①駿府楽市「特産品展示コーナー」来場者数 427,600人 ②駿府匠宿来場者数 270,000人 ③駿府匠宿利用者満足度 90%以上</p> | | | | |
| | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 R2.3.31 現在 | ①駿府楽市「特産品展示コーナー」来場者数 427,600人 ②駿府匠宿来場者数 270,000人 ③駿府匠宿利用者満足度 90%以上 | ①383,200 人 ②169,700 人 ③110.4 % |
| | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 施策 | 新市場・販路開拓に対する支援 | 事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、多様性に富んだ展示を行うことで、地場産品の認知度を高めていく 新型コロナウイルス感染防止対策を図り、来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備する 駿府楽市と連携した施設PRを行い、施設の知名度向上及び来場者の増加を図る 周辺施設との共同によりアフターコロナを意識した周遊コースを作成し、団体客の取り込みを図る | |
| | | 分野 | 商工・物流 | | | |
| | | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 地場産業係 | その他 (特記事項) | | | | |

| | | | | | |
|----|----------------|---|--|-------------------|--|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（５）多様な産業人材の確保・育成 | | 令和元年度 | |
| | 事業名 | 事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (1)駿府匠宿での地場産品体験学習事業 | | 予算額 | 5,826 千円 |
| | | | | 決算額 | 5,602 千円 |
| | 事業概要 | <p>本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>(1)駿府匠宿での地場産品体験学習事業 小学生に、ものづくりと地場産品に対する興味を喚起することで地場産業のPRと将来の後継者育成につなげます。</p> | | 取組状況 | 事業結果 |
| | 成果目標 | 体験学習申込児童数：3,220人 | | | |
| 17 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 R2.3.31 現在 | 体験学習申込児童数：3,267 人 | |
| 産業 | 産業振興プラン位置付け | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | 事業評価 | <p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>令和2年度から対象学年を全学年とするため、学校や関係機関との連絡を密にし、申込時に混乱がないように調整する。また、未実施校に対しても引き続き明確で効率的な周知を行う。</p> |
| | | 施策 | 次代を担う多様な人材の育成 | | |
| | | 分野 商工・物流 | 政策 | | |
| | 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 地場産業係 | | その他(特記事項) | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（５）多様な産業人材の確保・育成 | | 令和元年度 | |
|-----------|---|---|----------|--|--|
| 事業名 | 事業17 | 予算額 | 1,000 千円 | | |
| | ものづくり体験・学習機会の提供 (2)ものづくり教育推進事業 | 決算額 | 932 千円 | | |
| 事業概要 | <p>本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>(2)ものづくり教育推進事業 小学生が、ホビー産業の歴史等について学び、かつ実際にプラモデルの工作体験をすることによって、ものづくりの楽しさを体験してもらったとともに、プラモデルファンを増やし、将来のホビー産業を担う人材の育成に寄与します。</p> | 取組状況 | 事業結果 | ものづくりへの関心を高めるとともに、次代のプラモデルファン獲得に向け、市内小学校に対し、プラモデルをテーマにした出前授業を実施。授業を受けた児童の大部分にプラモデルについて関心を持ってもらうことができた。 | |
| 成果目標 | プラモデルが好きになった児童の割合 73% | | | | |
| 17 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 | R1.3.31 現在 | プラモデルが好きになった児童の割合 73% |
| | | 政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | 今後も引き続き、ブランド力のある地域資源を活用した「ホビーのまち静岡」を推進していくとともに、次代のプラモデルファン獲得に向け、模型メーカーや関係機関と連携し、小学生等を対象とした「ものづくり教育」に取り組んでいく。 |
| | | 施策 次代を担う多様な人材の育成 | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 商工・物流 | | | |
| | 政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | | | |
| | 施策 次代を担う多様な人材の育成 | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 工業振興係 | その他 (特記事項) | | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（５）多様な産業人材の確保・育成 | | 令和元年度 | | |
|-------------|--|--|-----------------|---|--|--|
| 事業名 | 事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (3)こどもクリエイティブタウンでの職場体験等 | 予算額 | 87,005のうちの一部 千円 | | | |
| | | 決算額 | 87,005のうちの一部 千円 | | | |
| 事業概要 | 本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。 (3)こどもクリエイティブタウンでの職場体験等 主に小学生を対象にした仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済の仕組みや地域産業を学びます。 | 取組状況 | 事業結果 | しごと・ものづくり講座などの各事業において、商店街をはじめとした地元事業者等と連携し、こどもに様々な体験をできる場を提供した。 | | |
| 成果目標 | | | | | | |
| 17 | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | 年間利用者（こども）： 70,190人 (%) | |
| | 総合計画の位置付け（分野別） | 政策 | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | 施設のアピールを継続するとともに、中学生や高校生等にも施設を利用してもらえるような取組みを検討する。 | |
| | | 施策 | | | | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります |
| | | 施策 | | | | 次代を担う多様な人材の育成 |
| 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | | | | |
| | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | | | |
| | 施策 | 次代を担う多様な人材の育成 | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業政策課 新産業係 | その他 (特記事項) | | | | |

| | | | | | | | |
|------|------------------------|--|---------------|--|---|----------------------|--|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（５）多様な産業人材の確保・育成 | | 令和元年度 | | | |
| | 事業名 | 事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (4)プログラミング教育推進事業 | | 予算額 | - 千円 | | |
| | | | | 決算額 | - 千円 | | |
| | 事業概要 | 本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組めます。 (4)プログラミング教育推進事業 小・中学校におけるプログラミング教育の実施に向けて、教員向けの研修会を行うなど、準備を進めます。 | 取組状況 | 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 小学校プログラミング教育研修会（悉皆研修）5回実施。研修の成果を実践事例集にまとめ、HPに掲載。活用促進に努めた。 ■ プログラミングを取り入れた授業づくり研修会を小学校悉皆研修として実施。 ■ 中学校技術・家庭科（技術分野）において、ネットワークを利用した双方向プログラムについて学ぶ研修を1回実施。 | | |
| | 成果目標 | | | | | | |
| | 17 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 子ども・教育 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | 実施 |
| | | | 政策 | 学校、家庭、地域が連携し、社会を生き抜く力を持った子どもたちを育てます | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 小学校プログラミング教育研修会については、令和2年度は、より教科書の内容に即し、情報モラルの内容も取り入れて継続実施。令和2年度で本研修を終了予定。（一定の目的を達成した） ■ 令和2年度は、プログラミングを取り入れた授業づくり研修会を廃止。 ■ 令和2年度の中学校技術分野の研修会は内容を変更して実施。 |
| | | 施策 | 教育力の向上 | | | | |
| | | 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | | | |
| | | | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | | |
| 施策 | 次代を担う多様な人材の育成 | | | | | | |
| 担当課等 | 教育委員会事務局 教育センター 研修係 | | その他 (特記事項) | 令和2年度に担当係を企画係に移行 | | | |

| | | | | | | |
|----------|-------------------------|---|--|-------|---|--|
| 事業 18 | ものづくり 基本計画 | 方針（５）多様な産業人材の確保・育成 | | 令和元年度 | | |
| | 事業名 | 事業18 多様な人材の就労に対する支援 (1)若者の就労支援事業 | 予算額 | | 988 千円 | |
| | | | 決算額 | | 979 千円 | |
| | 事業概要 | <p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(1)若者の就労支援事業 就労支援セミナーの開催や、出張相談会・カウンセリング相談を実施することで、働くことに悩む15歳～39歳までの若者（若年無業者）の就労を支援します。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>■親と若者の就労支援セミナー 開催：2回 参加者：延べ64名</p> <p>■出張相談会 開催：10回 相談件数：延べ18件</p> <p>■臨床心理士による心理カウンセリング 開催：19回 相談件数：延べ76件</p> | |
| | 成果目標 | 親と若者の就労支援セミナー参加者満足度 | | | | |
| | 総合計画の 位置付け (分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | 親と若者の就労支援セミナー 参加者満足度 91.3 (%) |
| | | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | 引き続き、保健福祉長寿局等関係機関と連携し、対象者の掘り起こしに努めていく。 |
| | | 施策 | 次代を担う多様な人材の育成 | | | |
| | 産業振興 プラン 位置付け | 分野 | 商工・物流 | | | |
| | | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | | |
| | 施策 | 次代を担う多様な人材の育成 | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係 | | その他 (特記事項) | | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（５）多様な産業人材の確保・育成 | | 令和元年度 | | |
|-----------|---|--|--|---|-----------|---|
| 事業名 | 事業18 多様な人材の就労に対する支援 (2)若者の地元就職・UIターン就職の促進事業 | 予算額 | 14,184 千円 | | | |
| | | 決算額 | 14,161 千円 | | | |
| 事業概要 | <p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(2)若者の地元就職・UIターン就職の促進事業 地元就職並びに、UIターンを志す若者をはじめ、市内企業の情報が行き届いていない若者に対する課題解決を図ることを目的として、若者就活応援サイト「しずまっち」等の様々なツールを活用し、若者が市内企業への就職を将来の選択肢として捉えることができるよう取り組みを推し進めます。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>①交流会等の実施回数 13回 ②就職支援情報誌「静岡で働こう。2020」令和元年12月1日35,000部発刊 ③若者就活応援サイト「しずまっち」令和元年度閲覧数195,854件 ④高校生向けキャリア形成支援プログラム 実施校数延べ12校</p> | | |
| 成果目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業への就職関心度 ・将来の選択肢が広がった生徒の割合 | | | | | |
| 18 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31現在 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業への就職関心度 97 % ・将来の選択肢が広がった生徒の割合 93.9 % |
| | | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | 事業評価 | <p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p> <p>引き続き、高校生など早期からのキャリア形成に取組むとともに、同窓会ネットワークを通じた情報発信に取り組んでいく。また、コロナ渦にあっても、若者と社会人との交流機会を提供できるよう、実施時期や方法はその都度検討していく。</p> |
| | 施策 | 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出 | | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | | | |
| | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | | | |
| | 施策 | 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出 | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係 | | その他(特記事項) | | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（５）多様な産業人材の確保・育成 | | 令和元年度 | | |
|-------------|--|------------------------|------------------------|----------------------|--|--|
| 事業名 | 事業18 多様な人材の就労に対する支援 (3)企業OB人材等の活用【再掲】 | | 予算額 | 1,790 千円 | | |
| | | | 決算額 | 1,297 千円 | | |
| 事業概要 | <p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(3)企業OB人材等の活用【再掲】 企業と企業OB人材等とのマッチングの機会を提供することで、企業OB人材等が持つ知識・経験・ノウハウ等を活用し、企業が持つ様々な経営課題の解決を図る取組を推し進めます。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | <p>■新現役交流会の開催 経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験・知識を有する企業OB等（＝新現役）とのマッチングを目的とした交流会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名：第2回 静岡市新現役交流会 ・日時：令和元年9月9日（月）13:00~17:30 ・場所：グランシップ 6階 交流ホール ・参加企業数：21社 ・参加新現役数：47名 ・延べ面談数：90回 ・マッチング率：12社/21社≒57.1% | |
| 成果目標 | マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合） | | | | | |
| 18 | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R1.3.31現在 | マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合） 57.1 (%) | |
| | 総合計画の位置付け(分野別) | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | 事業評価 | |
| | | 施策 | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | |
| 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <p>事前の申し込みでは66名の新現役が参加予定であったが、交流会前日から当日にかけて大型の台風が首都圏を直撃し、交通網が麻痺したことにより、当日の欠席が多数発生し、結果的にマッチング率の低下に繋がったと考えられる。</p> <p>より多くの新現役が交流会に参加することがマッチング率や満足度の増加に繋がることから、交流会当日に起こり得るトラブルへの対策と新現役参加に繋がる周知活動に注力し、次年度の交流会に備えていきたい。</p> | |
| | 政策 | 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります | | | | |
| | 施策 | 中小企業の経営基盤・競争力の強化 | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 工業振興係 | | その他 (特記事項) | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--------------------------|--|-----------------|--|---|--|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（５）多様な産業人材の確保・育成 | | 令和元年度 | | |
| | 事業名 | 事業18 多様な人材の就労に対する支援 (4)高齢者就労促進事業 | | 予算額 | 30,000 千円 | |
| | | | | 決算額 | 30,000 千円 | |
| | 事業概要 | <p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(4)高齢者就労促進事業 高齢者向けの就労相談窓口を新たに設置するなど、多くの元気な高齢者が、健康長寿で地域や経済において活躍できる環境を整備します。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | <p>■行政、経済界、福祉団体等と官民連携して、令和元年6月に、静岡庁舎2階にシニア向け就労サポート窓口「NEXTワークしずおか」をオープンし、個別相談、求人開拓、合同企業説明会の開催等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口での個別相談件数 延1,400件 ・訪問企業数 118社 ・シルバー人材センター新規会員登録者数 88名 ・窓口による事業利用満足度 99% ・窓口認知度 33% ・合同企業説明会参加者数 268名 |
| | 成果目標 | 高齢求職者の雇用・就業数 80名/年 | | | | |
| 18 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 R2.3.31 現在 | 高齢求職者の雇用・就業数 80名 | 206 名 | |
| 産業振興プラン位置付け | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | 事業評価 | <p>次年度に向けた改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の未達成理由等 | <p>・窓口設置場所周辺だけでなく、地域における就労支援の強化が必要であるため、清水区での相談会や清水港周辺における雇用創出に力を入れていく。</p> <p>・シニアのニーズにかなった魅力的な求人情報をさらに数多く取り揃える必要がある。そのため、窓口に来ているシニアの経験や資格等の情報をリストにまとめて「見える化」し、企業に示しながらシニア人材の活用を提案することで求人獲得を進める取組を進めていく。</p> | |
| 政策 | 若者や女性、高齢者、障がい者などの雇用機会の創出 | | | | | |
| 施策 | 若者や女性、高齢者、障がい者などの雇用機会の創出 | | | | | |
| 担当課等 | 保健福祉長寿局 福祉総務課 生涯活躍推進室 | | その他 (特記事項) | | | |

| | | | | | |
|----|----------------|---|-----------|----------------------|--|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（５）多様な産業人材の確保・育成 | | 令和元年度 | |
| | 事業名 | 事業18 多様な人材の就労に対する支援 (5)女性活躍ブランド認定事業 | 予算額 | 605 千円 | |
| | | | 決算額 | 573 千円 | |
| | 事業概要 | <p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(5)女性活躍ブランド認定事業 企業等において女性が企画・開発した商品等のうち、先駆性の高い優れたものを女性活躍ブランドとして認定し、女性活躍の好事例として広く情報発信することで、女性のモチベーションアップや周辺企業への女性活躍の取組波及等、女性の活躍推進を図ります。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>■認定件数：10件</p> <p>■情報発信実績：</p> <p>(1) イベント出展 ・「静岡市交流会in東京」（令和元年12月） ・「SDGs推進TGCLずおか」（令和2年1月） ・「テレす Girls Party」（令和2年2月）</p> <p>(2) 各種メディア ・テレビや新聞、HP等様々な報道手段による「見える化」 ・認定商品紹介冊子の作成</p> |
| | 成果目標 | — | | | |
| 18 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | — (%) |
| | 産業振興プラン位置付け | 政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントの延期や中止が予想されていることから、その他のPR方法の充実を模索していく。 |
| | | 施策 良質な就労環境の創出 | | | |
| | | 分野 商工・物流 | | | |
| | | 政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | | |
| | | 施策 良質な就労環境の創出 | | | |
| | 担当課等 | 市民局 男女共同参画課 男女共同参画係 | その他(特記事項) | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（５）多様な産業人材の確保・育成 | | 令和元年度 | |
|-----------|--|--|--------------------------|--|--|
| 事業名 | 事業18 多様な人材の就労に対する支援 (6)首都圏の女子学生を対象とした就労支援 | 予算額 | 196 千円 | | |
| | | 決算額 | ※若者の地元就職UIJターン促進事業の一部 千円 | | |
| 事業概要 | <p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(6)首都圏の女子学生を対象とした就労支援 首都圏へ進学した女子学生を対象に、静岡市内で活躍する女性との交流会を開催し、市内での就職を促進します。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>■ 2回開催 フェリス学院大学（当日参加学生26人） ホテルセンチュリー静岡（当日参加学生28人）</p> | |
| 成果目標 | 就職関心度90%以上 | | | | |
| 18 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | 就職関心度90%以上 100 % |
| | | 政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | より多くの女子学生が参加できるよう、周知時期を早める等、広報に力を入れていく。 また、コロナの状況によって、開催時期や方法を検討していく。 |
| | | 施策 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出 | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 商工・物流 | | | |
| | 政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | | | |
| | 施策 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出 | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係 | その他 (特記事項) | | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（５）多様な産業人材の確保・育成 | | 令和元年度 | |
|-----------|---|---|----------|--|---|
| 事業名 | 事業18 | 予 算 額 | 6,730 千円 | | |
| | 多様な人材の就労に対する支援 (7)働き方改革の実現に向けた環境整備の推進 | | 決 算 額 | 4,923 千円 | |
| 事業概要 | <p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(7)働き方改革の実現に向けた環境整備の推進 働き方改革に取組む企業ロールモデルの構築・事例発信や、ダイバーシティ経営推進セミナーの開催等により、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>【ロールモデル構築事業】</p> <p>■ロールモデル企業構築 延べ20社 ロールモデル企業の情報が掲載された冊子を製作した。</p> <p>【ダイバーシティ経営推進セミナー】</p> <p>■実施回数 5 回 経営者向け 1 回（47名）分科会 5 種（7・8・8・7・14名） 管理職向け 2 回（延べ34名） 従業員向け 2 回（延べ35名）</p> <p>■満足度98.57% 経営者向け 100% 管理職向け 94.54% 従業員向け 100%</p> | |
| 成果目標 | ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上 | | | | |
| 18 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 | R 2.3.31 現在 | 125 (%) |
| | | 政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | 事業評価 | <p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> | <p>【ロールモデル構築事業】 令和元年度で事業終了。 製作した冊子を活用し、ロールモデル企業を周知していく。</p> <p>【ダイバーシティ経営推進セミナー】 より多くの方の興味関心が得られるテーマ設定とするために、業者選定をプロポーザルとし、参加者の増加につなげていく。 また、コロナの状況によっては、オンラインセミナーでの開催に切り替えを検討していく。</p> |
| | | 施策 良質な就労環境の創出 | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 商工・物流 | | | |
| | 政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | | | |
| | 施策 良質な就労環境の創出 | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係 | その他(特記事項) | | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（５）多様な産業人材の確保・育成 | | 令和元年度 | | |
|-----------|---|--|--|--|--|---|
| 事業名 | 事業19 若手職人の育成事業 | 予算額 | | 9,840 千円 | | |
| | | 決算額 | | 6,685 千円 | | |
| 事業概要 | <p>地場産業界の後継者確保・育成及び新規就業者の定着を図るため、「クラフトマンサポート事業」として財政的な支援を行います。</p> <p>具体的には、短期現場実習、長期現場実習に対する助成に加え、長期現場実習を修了した者を雇用した事業主に対して雇用奨励金を交付する「雇用奨励金交付事業」、新たに職業人として独立した者を対象に建物の賃借料等を補助する「独立支援補助金交付事業」を実施します。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>【R1実施状況】</p> <p>①現場実習短期支援事業 5名</p> <p>②現場実習長期支援事業 6名</p> <p>③独立支援事業 0名</p> <p>④雇用奨励金 2名</p> <p>・長期支援については、新規2名を含めた6名が利用し、指導者の下、着実に技術を身に付けている。</p> <p>・短期支援の新規2名を開始するも、実習者の都合で辞退又は支援終了となったが、指導所にとっては今後の後継者育成のための有効な経験値となった。</p> <p>・独立支援については、進めてきた独立準備が先送りとなり、R2以降の計画に変更となった。</p> | | |
| 成果目標 | <p>新規制度利用者数</p> <p>・長期支援2人</p> <p>・独立支援1人</p> | | | | | |
| 19 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31現在 | <p>新規制度利用者数</p> <p>・長期支援2人</p> <p>・独立支援1人</p> <p>・長期支援2人</p> <p>・独立支援0人</p> |
| | | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | | |
| | 施策 | 次代を担う多様な人材の育成 | 事業評価 | <p>次年度に向けた改善点</p> <p>・目標の未達成理由等</p> | <p>・実習者と指導者とのマッチングが課題となっているため、伝統工芸の後継者が着実に増えていくよう、実習者・指導所とコミュニケーションを密に図り、対象者の慎重な選定や新たな指導者の確保に重きを置いて実施していく。</p> | |
| | 産業振興プラン位置付け | <p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 次代を担う多様な人材の育成</p> | | | | |
| 担当課等 | <p>経済局商工部</p> <p>産業振興課 地場産業係</p> | | <p>その他(特記事項)</p> | | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（５）多様な産業人材の確保・育成 | | 令和元年度 | |
|-----------|---|---|----------|--|---|
| 事業名 | 事業20 | 予 算 額 | 6,730 千円 | | |
| | 働き方改革の実現に向けた環境整備の推進 | | 決 算 額 | 4,923 千円 | |
| 事業概要 | 働き方改革に取り組む企業ロールモデルの構築・事例発信や、ダイバーシティ経営推進セミナーの開催等、市内企業における仕事と生活の両立や、女性をはじめとした多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。 | 取組状況 | 事業結果 | <p>【ロールモデル構築事業】</p> <p>■ロールモデル企業構築 延べ20社 ロールモデル企業の情報が掲載された冊子を製作した。</p> <p>【ダイバーシティ経営推進セミナー】</p> <p>■実施回数 5 回 経営者向け 1 回（47名）分科会 5 種（7・8・8・7・14名） 管理職向け 2 回（延べ34名） 従業員向け 2 回（延べ35名）</p> <p>■満足度98.57% 経営者向け 100% 管理職向け 94.54% 従業員向け 100%</p> | |
| 成果目標 | ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上 | | | | |
| 20 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 | R1.3.31 現在 | ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上 100 (%) |
| | | 政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <p>【ロールモデル構築事業】</p> <p>令和元年度で事業終了。 製作した冊子を活用し、ロールモデル企業を周知していく。</p> <p>【ダイバーシティ経営推進セミナー】</p> <p>より多くの方の興味関心を得られるテーマ設定とするために、業者選定をプロポーザルとし、参加者の増加につなげていく。 また、コロナの状況によっては、オンラインセミナーでの開催に切り替えを検討していく。</p> |
| | | 施策 良質な就労環境の創出 | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 商工・物流 | | | |
| | 政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | | | |
| | 施策 良質な就労環境の創出 | | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係 | その他(特記事項) | | | |

| | | | | | | | | |
|----|-----------|--|---------------|--|-----------------------------|---|----------|----|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（６）伝統工芸技術の保存・継承 | | 令和元年度 | | | | |
| | 事業名 | 事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (1)伝統工芸技術アーカイブ事業 | | 予算額 | 986 千円 | | | |
| | | | | 決算額 | 706 千円 | | | |
| | 事業概要 | <p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(1)伝統工芸技術アーカイブ事業 消失の危機に直面する熟練職人技術を抽出し、映像化や技術工程のサンプル化等により文化として保存し、後世への継承を図ります。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | <p>■業界調整により保存対象となる1技術を決定し下記を保存することでアーカイブを実施した</p> <p>技術保持職人による技術工程の映像制作： 1本（Blu-Ray 10枚、DVD20枚） 工程サンプル制作：1セット アーカイブ対象技術：珊瑚塗（駿河漆器） 技術保持者：新井吉雄氏</p> | | |
| | 成果目標 | 映像化本数：1本 | | | | | | |
| | 21 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | 映像化本数：1本 | 1本 |
| | | | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | | | |
| | | 施策 | 次代を担う多様な人材の育成 | 事業評価 | <p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> | <p>■技術保有者の健康状態は今後も確実とはいえなため期間を置かず確実な保存を図っていく必要がある。また各業界により後継者数や職人数など事情が異なるため、事情を把握しつつ調整を行っていく。更にアーカイブ技術は各保有職人個人の技術でもあり安易な公開はできないため、保持者との協議もしっかりと行う必要がある。</p> | | |
| | | 産業振興プラン位置付け | 分野 | | | | 商工・物流 | 政策 |
| | 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 地場産業係 | | その他 (特記事項) | | | | |

| | | | | | | | | |
|----|-------------|--|---------------|--|--|---------------|----------------------|---|
| 事業 | ものづくり基本計画 | 方針（６）伝統工芸技術の保存・継承 | | 令和元年度 | | | | |
| | 事業名 | 事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (2)伝統工芸保存講習会の開催 | | 予算額 | 1,890 千円 | | | |
| | | | | 決算額 | 1,808 千円 | | | |
| | 事業概要 | <p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(2)伝統工芸保存講習会の開催 本市の地場産業界の人材の育成や確保を図るため、地元伝統工芸業界の若手職人を対象に、伝統工芸技術の保存・継承・技術練磨等にかかる講習会を実施します。</p> | | 取組状況 | 事業結果 | | | |
| | 成果目標 | 開催部門：5部門 参加者数：38名 | | | | | | |
| | 21 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | 開催部門：5部門 参加者数：37名 | 5部門 27名 |
| | | | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | 講師の高齢化による人材不足は避けたく、中堅職人の選定を増加していく必要がある。また受講者の講座での製作品等の展示会を「産業フェアしずおか」にて開催したところ、受講者のモチベーション向上につながったため、今後も何等かの形で展示の機会を設け参加者の意欲向上につなげていきたい。また、高度な技術継承を求める声もあり、より高度なコースも検討していく。 |
| | | 施策 | 次代を担う多様な人材の育成 | | | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | | |
| | 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 地場産業係 | | その他 (特記事項) | | | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（６）伝統工芸技術の保存・継承 | | 令和元年度 | | |
|-----------|---|-------------------|--|--|--|---|
| 事業名 | 事業21 | 予算額 | 621 千円 | | | |
| | 伝統工芸技術の保存・継承 (3)伝統工芸技術秀士の顕彰 | 決算額 | 541 千円 | | | |
| 事業概要 | <p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(3)伝統工芸技術秀士の顕彰 本市の伝統工芸の技術を継承するため優れた技術の保持者を顕彰し、そのPRを行います。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>■各伝統工芸業界において高度な技術を有し、伝統工芸展等へ積極的に出展し技術研鑽に励む職人は、高齢化等により大幅に減少している現実の中、指定を見送ることとした。</p> | | |
| 成果目標 | 秀士の指定者数：1名 | | | | | |
| 21 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 | 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | 秀士の指定者数：1名 0名 |
| | | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | 事業評価 | <p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■対象者を広げすぎると指定制度の根幹が曖昧になる危惧があり、安易な拡大には問題がある。今後は中堅職人の中で有望視される職人を模索したいが、それでも人的に限りがあるため、その幅を検討していく必要がある。</p> |
| | 施策 | 次代を担う多様な人材の育成 | | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 | 商工・物流 | 政策 | 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | |
| | | 施策 | 次代を担う多様な人材の育成 | | | |
| 担当課等 | 経済局商工部 産業振興課 地場産業係 | | その他 (特記事項) | | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（６）伝統工芸技術の保存・継承 | | 令和元年度 | |
|-----------|--|--|------------------------------|--|--------|
| 事業名 | 事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (4)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業 | 予算額 | (協議会への負担金) 1,350 千円 | | |
| | | 決算額 | (協議会への負担金) 1,350 千円 | | |
| 事業概要 | <p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(4)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業【再掲】 中山間地「オクシズ」に漆の木を植林するとともに、漆を採取したり、塗ったりする職人を育成し、地域の文化財を守る仕組みを築き、「漆-japan-の里」としてのブランド化を図るとともに、伝統工芸技術の継承を図ります。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>(４) H30年度末官民で構成される「オクシズ『漆の里』協議会」を立上げ、都市部との交流促進、生産振興や6次産業化の推進を通じ、静岡の漆文化-「Shizuoka japan」のブランド化を目指します。</p> <p>【令和元年度実績】※協議会事業実績 (調査事業) 賦存状況調査、試験植樹、成分分析の実施 (人材育成事業) 漆掻き技術の映像記録化、担い手育成講座の開催 (付加価値向上事業) 先進地視察(茨城県日立大宮市) (普及啓発事業) 各種イベントへのブース出展 ほか</p> | |
| 成果目標 | 漆植樹面積 0.5ha | | | | |
| 21 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 農林水産 | 進捗率等 R1.3.31 現在 | 漆植樹面積 0.5ha | 0.3 ha |
| | | 政策 多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します | 事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | R2年度については、植樹面積の拡大に努め、協議会の各種事業を計画的に展開すると共に事業のブランド化を図ることで人々の取組みへの理解を深め、事業継続のための資金開発に繋げ、10年後の生産・流通を目指す。 | |
| | | 施策 地域資源を活かした新しい産業の創出 | | | |
| | 産業振興プラン位置付け | 分野 農林水産 | | | |
| | 政策 多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します | | | | |
| | 施策 地域資源を活かした新しい産業の創出 | | | | |
| 担当課等 | 経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係 | その他(特記事項) | ※H31~R3 農水省山村活性化振興交付金事業 | | |

| ものづくり基本計画 | | 方針（６）伝統工芸技術の保存・継承 | | 令和元年度 | |
|-------------|---|--|-----------------------------------|---|--|
| 事業名 | 事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (5)地域おこし協力隊による「井川メンバ」の保存・伝承 | 予算額 | ((5)地域おこし協力隊配置に要する経費として) 3,996 千円 | | |
| | | 決算額 | ((5)地域おこし協力隊配置に要する経費として) 3,996 千円 | | |
| 事業概要 | <p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(1)伝統工芸技術アーカイブ事業 消失の危機に直面する熟練職人技術を抽出し、映像化や技術工程のサンプル化等により文化として保存し、後世への継承を図ります。</p> <p>(5)地域おこし協力隊による「井川メンバ」の保存・伝承 「地域おこし協力隊」は、その地域に居住してもらいながら、最長3年間隊員として地域おこし活動に取り組んでもらうものです。井川地区の活動テーマは「井川メンバの保存・伝承」であり、現在市内に1人しかいない職人の技術を継承するための取組を実施します。</p> | 取組状況 | 事業結果 | <p>(1)「オクシズ『漆の里』協議会」事業※として、かつて市内中山間地で行われてきた漆採取技術の保存・継承のため、現在市内唯一の漆掻き職人・高橋康夫氏による一連の作業の映像記録を作成した。 ※事業21(4)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業</p> <p>(5)当初の予定どおり、市内で井川メンバを製造する唯一の職人の元で年間を通じて修業を行った。また、1月に実施されたパリカルタでの「オクシズ『漆の里』協議会」のブース出展において、隊員が製作した井川メンバの展示を行い、国内外から非常に高い評価を得ることができた。 今年度で井川メンバの製作に必要な漆塗り以外のすべての工程を習得し、来年度は、生活の拠点を市街地から徐々に井川にシフトしていきながら習得した技術の更なる磨き上げをはじめ、新しい井川メンバの型の開発などを行い、任期終了後の独立に向けた準備を進めていく。</p> | |
| 成果目標 | - | | | | |
| 21 | 総合計画の位置付け(分野別) | 分野 商工・物流 | 進捗率等 | R2.3.31 現在 | - (%) |
| | | 政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | 事業評価 | 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 | <p>(1)制作した映像記録を多くの方々に見てもらい、存続の危機にある市内の漆掻き技術の保存・継承、「オクシズ『漆の里』協議会」の取組みの周知を図る。</p> <p>(5)「井川メンバ」の製作技術の習得をさらに進めるほか、新しいデザインなどの立案等にも注力を行う。</p> |
| | | 施策 次代を担う多様な人材の育成 | | | |
| 産業振興プラン位置付け | 分野 商工・物流 | 政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります | | | |
| 担当課等 | 経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係 | その他(特記事項) | ※(5)に係る地域おこし協力隊隊員任期はR3年度末まで。 | | |